京城日報
朝刊　朝夕刊共十二頁

皇軍の神策鬼籌　敵唯一の退路遮斷
○○快速部隊の殊勳
黄河渡河點占領

【河南○○十二日同盟】○○快速部隊は十一日夜半遂に殘された唯一の黄河渡河點黄河北岸狂口渡（垣曲東方十二キロ）を完全に占領した、かくて鐵謝、三門、白猥、尖坪、茅津渡の六ヶ所の渡河點は悉く我が手に確保され、狂口渡目指して雪崩の如く敗走中だつた敵は今や唯一の退路を遮斷され殲滅を待つのみとなつた

空陸渾然一體絶妙の立體作戰

一、又十一日朝三門村渡河點より西北方に反轉した我が若松、河野、杉山、高浪の各部隊は同日夕刻更に南方に一轉し望原村附近において敗走する敵を捕捉殲滅的損害を與へた、更に垣曲西北地區では我が谷、吉田の兩部隊は同日一三二五高地（垣曲北方二十三キロ）に蝟集せる再編第九十四師、八十四師の約三萬を猛攻、徹底的打撃を與へ中三千を捕虜とした

泥濘の隘路唯突撃
衞立煌軍を寸斷、猛進

【河南○○前線十二日同盟】衞立煌麾下廿萬の敵寸斷殲滅戰は皇軍の空陸相呼應する立體戰によつて所期の戰果を收めつゝあるが、十二日も引續き降雨に泥濘と化した隘路を衝き到る處で潰滅的打撃を與へつゝある、即ち垣曲方面に於て蘇萬麾下第五集團軍の第一七八〇、三四二軍が各軍別に包圍した山口、井上、垣内、根津、池田、西岡、松岡、木暮、辻、竹田、松尾、是木の精鋭は、隣接秋山部隊の協力を得て十二日朝來中條山系の各高地による頑敵に一齊突撃を敢行、各個殲滅を行ひつゝある

一、沁水附近にある劉戡麾下の敵第九十三軍は垣曲横嶺關貝縣地區の重慶軍が殲滅に瀕してゐることを知るや危險を感じて逸早く十一日夜沁水南方に遁走を企てたが、十二日拂曉その約一千は沁水附近にて我が軍に捕捉殲滅されたり

一、上田、中谷の兩部隊は十一日白狼村渡河點附近から我が眼をかすめて黄河對岸に逃走せんと企圖せる約一百の敵を猛撃したところ敵は對岸の當戰隊から猛射を受け殆ど殲滅した

一、○○快速部隊初め鹽澄、森川、小林の各部隊は十二日拂曉蓮石（濟源西方四十キロ）附近で武士敵の第九○軍を覆滅、更に敗敵を狂口渡方面に急追中

松岡外相奏上

【東京電話】松岡外相は十二日午後二時卅分宮中に參内　天皇陛下に拜謁仰付けられ一般外交經過につき委曲奏上、種々御下問に奉答して退下した

各精鋭一觸即勝
全戰線に戰果擴張中

【河南○○前線十二日同盟】中原大會戰その後の戰況次の通り

一、垣曲方面に於て包圍網を壓縮中の高木、太田等各部隊は十一日夕刻より溫峪村周邊に蝟集せる敵七千に猛攻を加へて潰滅、辛うじて逃げ延びた敵五百を白狼渡で捕虜とした

一、十一日午後有富部隊は五女山（垣曲西北十六キロ）附近を敗走中の敵大部隊に猛攻を浴びせこれを潰滅、五福澗渡河點附近において奧村部隊は敵二千を猛撃、敵遺棄死體五百五十、捕虜二百三十五

蟠山北方の河谷附近では園部部隊が新編第二師を急追して大打撃を與へ、小路部隊は垣曲より對岸南村の敵陣に猛砲撃を集中、渡し船十三を撃沈した

一、陸鷲、森玉、根京、奧村、平松の各部隊は十二日朝來地上部隊附近に活動を續けつゝあつたもの

第五戰區殲滅戰
最高潮に達す

【漢口十二日同盟】全戰線に亙り四百キロ湖北における敵第五戰區殲滅戰はまさにその最高潮に達し我軍は引續き敵殲滅を續行中である

一、隨縣西北方地區唐縣鎭より敵の側面に進出南進中の花谷、山口、土屋、山仲、木畑、中川、中道、國井、秋月、大谷の各部隊は敵の正面を衝いた重信、熊川、加藤、園田、沼崎等各部隊と緊密なる連繫下に敵四十五軍の本據環潭鎭を目指して進撃十日夕刻これを攻略した

一、安陸北方棗陽地區＝漢水の要衝亦水鎭を占領後、東北進した福澤部隊主力は、十一日朝棗陽東家集（流水溝東北二十五キロ）を占領、更に瀾部隊は長壽店東北十キロ附近に續く…津部隊は三里崗周邊の敵を掃蕩中

一、荊門北方地區＝吉川、久保、長澤、大森、村上、大澤、猪子、島海、鹽原、新田、岩田各部隊は大巴山系東麓を縫ふて北進中であつたが、十一日早朝遂に要衝安家集（荊門北方七十キロ）を攻略した

一、當陽北方地區＝遠安縣城を攻略後遠安盆地の殘敵を掃蕩中の吉岡、堤、有園、福嶋、飯塚等の各部隊は十一日遠安北方より各部隊連繫裡に一齊行動を起し東北方へ向つて進撃を開始した

なほ十日までに判明せる綜合戰果左の通り

一、隨縣北方敵遺棄死體一千二百八十三、捕虜百二十一

一、荊門北方、敵遺棄死體千四百三十二、捕虜二十八

一、當陽北方、敵遺棄死體三百八十五、捕虜二十四、その他武器彈藥多數

五集團軍撃碎

【晉南十二日同盟】十日來の豪雨に泥濘は膝を沒するほどで皇軍の精鋭を著るしく苦しめてゐるが、戰況は十一日より十二日にかけ一段と白熱化し五集團軍を主力とする重慶軍を完膚なきまでに撃碎、この二日間だけで判明した捕虜は八千を超え敵遺棄死體一萬數千に達してゐる

協力、敵備搜索、友軍の誘導、連絡に當る一方、鐵謝渡對岸の敵日七七師を猛爆多大の損害を與へた

粤東に又敵前上陸
精鋭榊部隊、紅海灣を奇襲

【紅海灣沿岸○○にて十二日同盟】廣東省惠州方面作戰の精鋭榊部隊は十一日午前四時海軍部隊の密接なる協力掩護下に突如廣東省紅海灣西岸○○附近に奇襲敵前上陸を敢行、息つく間もなく隨所に敵の抵抗を排し平山墟目指し猛進撃を開始し峻嶮を攀ぢ泥濘の惡路を突破すること實に二十五里、その先方部隊は十一日早朝早くも惠州東方○○に進出、敵の退路遮斷に成功した

惠州を完全占領

【廣東十二日同盟】南支艦隊報道部十二日午後六時發表＝廣東方面特別根據地帶の東江水路警戒隊は東方面作戰開始に當り陸軍部隊を嚮導し昨十一日午後三時五十八分博羅に達し、續いて午後三時五十五分陸軍部隊と共に惠州に突入せり

【南支○○前線十二日同盟】博羅方面より進出中の福本、串戶、高須、中尾等の各部隊は敵の頑強なる抵抗を排除し、十二日午後三時五十五分惠州に突入、次で同四時十分完全に同城を占領した

皇軍四面、敵袋の鼠
香韶の蠢敵刻々殲滅

【南支○○前線十二日同盟】香韶ルート奪回を企圖した敵は吳福如を師長とする第百六十師、容乾の獨立第九旅、翟榮基の第六挺身縱隊、保安團及び國民兵團自衞團に屬する數萬で、惠州を中心としてその附近に蠢動を續けつゝあつたものである、これに對し我部隊は廣東、バイアス灣、紅海灣の各方面の大規模な包圍網を漸次これを縮小しつゝあるため、敵大軍は完全にわが包圍網内に入り全く袋の鼠と化しその殲滅は刻々に迫りつゝある

陸鷲の協力

【南支○○基地十二日同盟】櫻井、藤井、松村、寶玉橋、鹽澤、鈴木、加藤、佐藤、稲垣の陸鷲各部隊は十二日拂曉より南支に珍しい快晴を利し銀翼を連ねて出動、增城、東江、平山墟、河源等の偵察攻撃を敢行、平山墟附近では多數の防空壕に必中彈を浴びせ人馬諸共吹上げ、敵部隊に大損害を與へまた一隊は香韶ルートの要衝河源（惠州東北七十五キロ）を攻撃、退却中の敵部隊並に軍需品倉庫を爆碎それぐ凱歌をあげ基地に歸還した

油斷の舌からスパイは躍る！

"大統領口に平和"
孤立派、欺瞞を抉る
米議會歴史的論戰展開せん

【ワシントン特電十一日發】大西洋及び地中海戰局の益々重大化するに伴ひアメリカの對英援助は愈よ拍車をかけアメリカの正式參戰は正面切つて論議さるゝに至つてゐるが、アメリカ議會においては近く商船護送問題及びアメリカ水域沿外國船舶徵用案を背景としアメリカの對戰問題に關し歴史的な一大論戰が展開されるものと豫想される、而して論戰はまづ目下議會で審議中の外國船舶徵用案に關する討議によつて口火が切られ、孤立派議員と參戰派議員との間に火花を散らす論戰が豫想される、右法案自體については ルーズヴエルト派がその無條件通過を企圖するに對し、孤立派は徵用船舶の對英讓渡を阻止せんとするだけであるが、この問題を繞つて論戰はより根本的な方向に發展し、今次戰爭に對するアメリカの基本的態度そのものが漸次論爭の中心とならんとする情勢にある、この點について下院孤立派の領袖デインカム（共和黨）議員はすでにルーズヴエルト大統領に對し對戰問題を公然たる討議に出て注目を惹いてゐる、同デインカム議員はル政府の閣僚がアメリカの參戰を明からさまに要望しつゝあるのに對し、大統領自身はアメリカの平和維持を希望するが如き欺瞞的態度を取つてゐることを難詰し次の如く警告してゐる

アメリカの國民は歐羅巴及びアジヤの戰爭に參加する意思のないと、曾にル大統領はアメリカの傳統を破つて第三期出馬をするに際しアメリカを戰爭に捲込まない、この誓約を國民に與へたことを我々は心に銘記してゐるのである

ルーズヴエルト大統領はアメリカ國民の意思を無視してアメリカを戰爭の渦中に捲込み、アメリカの男子を送るべく戰場を外國に求めんとしてゐる、しかしル大統領は昨秋の大統領選擧中にアメリカは參戰せしめざる旨の誓約を與へてゐるのであるから アメリカ全國民は今や立つてかかる大統領の政策に對し抗議すべきである、大統領は對英援助こそ自由への唯一の道である旨強調してゐるが、彼はこれによつてアメリカの民主主義を崩壞せしめんとしてゐるので、かかる大統領の意見に對し過日リンドバーグ大佐が辛辣なる反駁を加へたのは實に機宜を得たものである、余は來週中に商船護送反對法案を議會に提出し、全議員の賛否を記錄に取るべく記名投票を要求するつもりである

商船護送反對案
トビイ議員提出聲明

【ボストン特電十一日發】アメリカの參戰態勢強化につれ孤立派の反戰論も再び激化しつゝあるが、トビイ上院議員（共和黨）は十一日ルーズヴエルト大統領の參戰政策を非難するとともに來週中に商船護送反對法案を議會に提出するため[illegible]海軍が行動を開始すればアメリカ[illegible]

西に日本あり
フーヴアー前大統領ラジオ放送
參戰の危險を痛說す

【ニューヨーク十一日同盟】フーヴアー前米大統領は十一日六ケ月振りで沈默を破りラジオを通じて全米國民に對し「アメリカは參戰すべからず」と次の如く警告した【寫眞＝フーヴアー氏】

アメリカはどうしても參戰してはならない、その代りに英國に出來るだけ軍需資材を供給してやればよいのだ、今もしアメリカが參戰すれば戰後に不景氣と破産の到來することは必至であり、米洲大陸に自由の歸つて來る日までは十年もかゝるであらう、しかもアメリカが大西洋において參戰すれば必然的に參戰することになる、現在米國民は西半球防衞と侵略に對する反對の決意は充分出來てゐるにしてもそれ以上戰爭といふことになれば軍事的にも產業的にも準備が出來上つてはゐない、從つてアメリカ國民の大多數は明かに海軍乃至陸軍を海外に派遣することには反對してゐる、アメリカは參戰をしないことによつてのみイギリス國に對し充分軍需品を補給し得るのである、アメリカが今參戰することは賢明でないばかりでなく、それはイギリスにとつてもアメリカにとつても利益ではない、本にとつては好機到來である、たとへ日本がアメリカに對し戰端を開かぬとしても日本の態度には極めて危險なものが包まれてゐるかられく は即座に太平洋の防備を增強しなければならない

イラク宿望貫徹
ソ聯と國交樹立に成功

【モスコー十二日同盟】ソ聯政府は十二日イラク政府の要請を容れ同國との間に外交關係を樹立する旨に決した旨公表したがイラクが反英抗戰を開始してから既に旬日英增援軍の到着で、イラク軍が漸次不利に陷らんとしてゐる時、ソ聯がこの措置に出たことは注目される、タス通信發表内容次の通り

イラク政府は一九四〇年末トルコ駐在公使を通じて數回に亙つてソ聯政府に對しソ聯とイラク間の外交關係樹立方を提議して來たのである、その際イラク側ではソ聯はイラクとの國交開始の場合にはイラクを含むアラビヤ諸國の獨立承認をも宣言してくれるやう希望して來た、ソ聯としてもイラクとの外交關係樹立には積極的態度を持しては來たが、何等かの宣言を行ふといふ條件附では同問題を考慮することが出來ないので、當時この旨イラク政府に回答、交涉はそれで一應打切りとなつてゐた、しかるに本年五月三日イラク政府は駐トルコソ聯大使館を通じ重ねてソ聯、イラクの國交開始を要望し來り、しかもこの際には他のアラビヤ諸國に關し何等の條件をも附してゐなかつたので ソ聯政府もイラク政府の外交關係樹立要求を受諾したのである

各黨派、重慶を離反
抗日陣營の分裂必至

【南京十二日同盟】新四軍事件を契機として抗日統一戰線分裂の危機に直面した國共關係はその後アメリカ側の斡旋策により情勢稍々緩和の傾向にあつたが最近重慶内部の政情はます／＼尖化し民族統一戰線による抗日陣營の分裂、國民黨內部の分裂必至の傾向にある

即ち
一、國民黨內反共、聯ソ兩派の相剋は日ソ中立條約の締結の影響を受けて愈よ深刻化するとともに黨軍中には新、舊二派と、また直系中にも新直系と準直系とに分れ外交政策問題でも親英米親獨、聯ソ、中立各派が對立しこれが複雜、錯綜した關係を生んで猛烈な暗鬪を展開しており

一、國社黨、國家主義青年黨、救國聯合會派、民族解放同盟等の第三勢力の動きは國共對立の形勢に伴ひ俄然活潑化し、三月開催された第二期參政會でも結束して國民代表大會の招集、憲法發布期の確定、憲法草案の修正等を要求、これが彈壓を受けるや重慶政權よりの離反傾向に拍車をかけ第三勢力を動員して國民黨憲政反對の運動を潛行的に展開してゐる實情にある

政府翼賛會の連絡機關設置

【東京電話】協同翼賛會組織局長は十二日の定例次官會議席上政府と大政翼賛會の連絡問題に關し、同會の方針を說明して「政府と表裏一體關係を緊密化して政府の主旨徹底その他について萬遺憾なきを期するため、各省との連絡機關を設置する考へである」と述べ、その諒解を求めるとともに各省次官などの翼賛會事務參與に就任方を懇談した

政府、統帥府臨時連絡懇談會

【東京電話】政府、統帥部臨時連絡懇談會は十二日午後五時半より首相官邸に開催、政府側より近衞首相、平沼內相、松岡外相、東條陸相、及川海相、富田書記官長、統帥部側より杉山參謀總長、永野軍令部總長出席、當面の內外重要問題につき種々懇談して同七時過ぎ散會した

中樞院副議長　李家軫鎬氏

【東京電話】朝鮮總督府中樞院副議長被仰付　中樞院參議　李家軫鎬
朝鮮總督府中樞院顧問被仰付（各通）
同　朴重陽
同　韓相龍
同　伊東致昊
侯爵　李丙吉
金季洙
佳山鎬

總督府辭令（十日附）

▲本府技手石川重三郎任本府技師（六等）命財務局兼內務局勤務▲鐵道局技手津田理一任鐵道局技師（七等）▲道技師町田久壽男任本府技師兼道技師（三等）命內務局清津土木出張所長命咸南在勤▲小野龍任本府技師兼道技師（六等）命內務局勤務命咸南在勤▲本府技師兼道技師菊池新吉免本官專任道技師命京畿道在勤▲岩本曾任土木技師（七等待遇）補江原道土木技師▲咸南土木技手松尾東三任同技師（同）補黃海道土木技師▲金子實夫▲佐伯次任道立醫院醫官（六等）命慶南在勤（各通）▲裁判所書記中村儀一任裁判所書記長（六等）補平壤覆審法院書記長▲同川野三郎任同（七等）補京城地方法院書記長▲同岡部眞二任同（同）補平壤地方法院書記長▲同福田篤二任同（同）補大邱地方法院書記長▲同吉田清太郎任同（七等）補中[illegible]

‖人‖

◇山本坂太郎氏（前忠南內務部長）東京市中野區城山町五五に移轉◇山村壯輔氏（新任江原道內務部長）十二日午後三時城東釀造家族同伴赴任、同日本社來訪挨拶◇司子明氏（旅鮮中華商會聯合會長）新任挨拶のため十二日本社來訪▲王鈞衡氏（同副會長）同上▲郭占榮氏（同上）同上◇曾川星德氏（殖銀支店長）新任挨拶のため十二日本社來訪

東西南北

常設取引所經濟懇談會では釜山まで足をのばし十日釜山公會堂で開催したところ▲公會堂始まつて以來の人出で實に立錐の餘地もない有樣で窓の外から質問する者も出たほど▲この有樣を眺めた井坂商工課長は「政治演說のやうだつた」といひ▲服部經濟警察課長は「李香蘭くらゐもてたよ」といふ▲いづれにしても釜山の民意をきく會は盛況であつたらしい【寫眞＝(上)井坂商工(下)服部經警兩課長】

海鷲重慶大爆撃

社説　地銀合同への示唆

最近内地における地方銀行の合同が急速に進捗しつゝあることは朝鮮の場合にも大きな示唆を與へるものである。銀行の企業合同については遠く高橋藏相時代より大藏省の不動の方針として事毎に當局の慫慂の下に漸次進捗を見せ最近に至つては高度國防國家完成のための生産力擴充と公債消化に金融機關を綜合計畫的に動員せしめるための一手段として政府の銀行合同に對する方針は更に一段と強化され來つたのであるが最近の地銀合同が斯く政府の方策に基いた徹底なる地域的な合同であるといふ以外に、地方銀行乃至普通銀行が從來の如く地域的の合同そのものを最終目的とせず、合同による經營組織の強化によつて、更に積極的に國家金融機關の一環として中央大銀行と等しく國家目的に副ふ金融に乘出し、金融分野を失ひつゝある苦境を自ら打開せんとする眞剣な態度を示してゐるとは、金融新體制の前途に大きな示唆を與へるものとして注目すべきであらう。いふところの資金プール化、中央大銀行との提携等といふ問題がそれを示すものであるが、銀行の企業合同はそれ自體それに止まるべきでなく、中央、地方を通ずる金融の縦の一體化にまで發展すべきことは、諸經濟統制の強化による普銀の貸出制約と、公社債の消化、生擴資金の積極的融通といふ普銀の新しい使命とを考へ合せる時に、當然肯定し得る發展過程であらう。かくて銀行合同は新しき意義をもつことになるが、朝鮮の場合を見るに、朝鮮の銀行合同は大體において、内地に比し比較にならぬほどの整理合同が進捗してゐる状態にあることは否定し得ぬとしても、普通銀行の苦境と一方國家より要請せられつゝある使命は内地の場合と同じく、朝鮮のみが蔑然として不動の状態にあることは許されぬことを示してをり、更に一段の企業體の強化が行はれねばならぬと思ふのである。實際又一段の企業整理が行はれる餘地は十分あると思ふのであるが、問題は當事者間のこの問題に對する熱意如何にあり、具體的の指摘は別として、吾等のこゝにその必要性を特に強調せんとする所以は全く當事者のこの問題に對する更に一段の積極的研究を希望する以外の何ものでもないのである。

全北の増米競進會　五日現在既に六割を突破　全鮮一を目指し猛進撃

興農會主催

【全州】全羅北道では昨年の如く戰爭完遂への糧食全北の底力を發揮し、朝鮮興農會主催の増米競進會優勝旗獲得を目指し道内を四區に分けて、増米打合會を開き増米計畫遂行に水も漏らさぬ鄕黨の指導陣容をうち樹てゝ種籾の消毒、苗代改善に全力を盡してゐるが、道當局では適期植付、反當收量増加に萬遺憾なきを期するため、去る一日より十日までの間に豫定通り苗代設置を完了すべく、各郡面、部落、職員を總動員しこれが設置督勵に邁進した結果、五日現在に六割の進捗を見、就中金堤、井邑、扶安、高敞、錦山、群山部においては七、八割の好成績を收め十日までには豫定面積全部の設置終了は確實となつたが、五日現在各地の苗代設置進捗状況は次の通りである

五月五日現在苗代設置進捗状況

府郡名	苗代豫定面積（町）	苗代設置歩合（割）	同上面積（町）
群山	一八、三	六、三〇	一一、五
全州	三一、三	四、五〇	一四、一
完州	三一、三	四、五〇	一四、一
鎭安	七四八、八	三、二〇	二三八、七
錦山	二九九、二	四、七〇	一四〇、六
茂朱	二五五、七	五、九〇	一五〇、九
長水	一七四、七	七、〇〇	一二二、三
任實	二四五、五	五、八〇	一三四、四
南原	三二四、四	四、五〇	一五〇、五
淳昌	六五五、二	三、五〇	二二八、八
井邑	三四四、二	二、六〇	八九、五
高敞	九一九、六	八、〇一	七七七、五
扶安	六九八、八	七、〇〇	四八九、二
金堤	五七六、二	七、七〇	四四三、七
沃溝	一、一五六、九	七、四七	八六三、五
益山	七三六、九	五、四〇	三九九、九
合計	一、一〇九、四	六、〇〇	七五四、四
	八、二七一、二	六、〇〇	四、九六五、五

農林省異動

【東京電話】農林省では十四日附を以て左の如く課長級の異動を發令するが、これは内藤農林大臣秘書官の農地開發營團入りと休職中の和田前農政課長、南京駐在經濟顧問として轉出する難波企畫課長の東京帝大農學部へ復歸する近藤統計課長等の後任補充に伴ふものである

木炭第一課長　田中　啓一

任農林大臣秘書官　食糧管理局第一部經理課長　久保賢次郎
元滿洲國興農部參事官　石坂　弘
命大臣官房統計課長
命總務局企畫課長　價格第一課長兼總務局價格第一課長　蓮池　公咲
農政局農政課長兼總務局價格第一課長を命ず
大阪食糧事務所長　小山田光一
命山林局木炭第一課長
總務局總務課員　原田　傳
水産局漁洋課長を命ず
海洋課長　角替　吉平
命大臣官房文書課勤務
統計課長　近藤　康男
命大臣官房統計課勤務
東京營林局庶務部長　矢野　彰
命食糧管理局第一部經理課長
總務局兼文書課員　吉澤　萬二
命東京營林局庶務部長
農林省農政局長　岸　良一
免農政局農政課長事務取扱
農林大臣秘書官　内藤　友明
依願免本官
總務局企畫課長　難波　理平
命退職

地方檢事異動

【東京電話】司法省では地方檢事異動を十二日左の通り發令した

福岡地方檢事局　徳江治之助
補名古屋地方檢事正
長崎地方檢事正　岩淵　彰郎
補福岡地方檢事正
松山地方檢事正　山口　龍作
補長崎地方檢事正
廣島控訴院檢事　石井　美猶
補松山地方檢事正
神戸部長判事　大野新一郎
補大阪控訴院部長
大阪控訴院部長　庄司　直治
補大阪地方部長
大阪控訴院判事　石井　寛三
補神戸地方部長
大阪地方部長判事　小林　定雄
補大阪控訴院判事
豐橋區裁判所判事　網田　覺一
補和歌山區裁判所判事
大阪地方判事　荒川　省三
補東京區判事兼東京民事地方判事
東京刑事地方判事
補東京區檢事兼東京刑事地方檢事
水戸區檢事　徳永　正次
補奈良地方判事
奈良地方判事　目黒　太郎
補豐橋區判事
檢事　鈴木　壽一
命豫備檢事
命水戸地方檢事局勤務
大審院檢事　松野　嘉七

任興亞院書記官

豆ノート　損害保險の刷新

◇…鐵鋼をトップとする重要產業部門の統制會組織につれて損害保險界にも遲ればせ乍ら最近新體制の機運が釀成されて來た、損保界殊に火災保險部門は料率協定があるとはいふものゝ統制は全く紊亂してをり、かうした實際料率の不均衡は他の産業部門に不公正な保險料負擔を與へるのみならず、この状態を續ける時は損保會社の經營基礎にも影響を及ぼす虞があるため、新體制による統制強化、機構整備の必要が痛感されるに至つた

◇…現在損保界の統制機關としては火保協會（加盟四十三）海保協會（同二十九）船舶保險協同會（同十一）貨物保險協和會（同廿一）であるがこれには極少數のアウトサイダーを殘してゐる、このため一昨年内地會社全部を包含し官廳との連絡協調機關として損害保險自治協議會が結成されたが、これは何等統制機能を有しない、そこで損保界新體制の第一着手として各種協會の綜合問題がまづ登場して來たわけだ

◇…この協會統合問題は近く自治協議會にて考究することになつてゐるが、基本的には全損保會社を打つて一丸とする一元的統制團體の設立を目ざして居ることは間違ひなく、具體的には損害保險自治協議會を統制團體に改組擴充すると共に他の既存協會はこれに吸收解消して夫々船舶保險、火災保險、貨物保險の各部として擴張することに落付くものと見られる

外交攻勢展開か　パーペン駐土大使歸任

【イスタンブール十一日同盟】イスタンブールのドイツ筋消息によれば過般來ベルリンにおいてヒトラー總統、リッベントロップ外相と重要協議を重ねてゐたパーペン駐トルコ大使は、十一日ベルリンより飛行機でイスタンブールに到着する豫定である、パーペン大使は今回の歸任に際して種々傳へられてゐたドイツ、トルコ新經濟協定に對する獨側の提案を携行するものと見られ、ドイツのトルコに對する外交攻勢はいよいよ具體的な形をとつて現はれるものと豫想される

蘭印

海軍基地スラヴアヤを中心に海空軍の強化が行はれ、ジヤワ附近には飛行機製作所二ケ所が完成したといはれる、巡洋艦四隻、驅逐艦十二隻、潜水艦十八隻を統め百隻から成る小艦艇隊はいづれも戰爭準備に狂奔、陸軍空軍基地アシディキタン、カリジテなどにもマーチン飛行機及び新鋭戰鬪機の配備がアメリカよりの供給の下に完了したと傳へられる

かくてマレー、蘭印、と島を連ねる所謂馬締型な包圍線は重慶、印度、ビルマの陸上第一線と共に英米蘭の提携による強化に狂奔しつゝあるが、その直接の目的とするところはあくまで日本を文字通り包圍し、西南太平洋における二千五百哩の我が交通線を脅威しつゝ同時に太平洋水域により濠英、援蔣物資輸送を強化するにある

さながら戰時狀態　英、米、蘭防備に狂奔

上海特電【十一日發】アメリカの參戰態勢濃化に伴ひ西南太平洋の反樞軸包圍線も日を逐つて強化され、香港、マニラ、シンガポール、スラヴアヤなどの英米蘭軍事據點はさながら戰時狀態と化するに至つた、即ち當地外人筋への情報によれば左の如くである

フイリッピン　八日マニラ入港のアメリカ陸軍運輸船ワシントン號は第二次と覺しき増強部隊として約二千の陸軍部隊を上陸せしめ、同時に若干の爆撃機を陸揚げしたが、目下カビテ軍港にはアメリカアジヤ艦隊旗艦ヒユーストン號を初め、マーブルヘッド、シンシナチー、イレントなどの巡洋艦、航空母艦、驅逐艦數隻が待機し、附近に十八隻の潜水艦が配備されてゐるが、新鋭大型潜水艦の増加が注目されてゐる、一方リコルスフイールド飛行場のアメリカ陸軍航空隊を初め各種の驅逐艇部隊が増派され、更に新鋭空機が續々と到着、また防空設備の不完全のため全島防空に狂奔しつゝある

香港　萬一の場合全く孤立化する惧れがあるので香港政廳は早くも籠城準備を開始し、食糧貯藏に全力を注ぎ六月一日より食糧官營を實施、一般商社の取引は一切を禁止、救援隊到着迄の食糧を整へることゝなつたが、更に九日はイギリス潜水艦數隻がひそかに就航し、香港島周邊の機雷敷設區域も擴大されてゐる、島内には數ケ所の防空壕を建設し、中には地下三哩に亘るトンネルが完成されたといはれる

シンガポール　既に四萬の濠洲機械化部隊（ディガリー）到着、シンガポール北方二百五十哩附近のジャングル地帶を防備の第一線地帶として連日猛訓練を行つてをり、マレー方面の防備軍は十萬に達してゐるといはれる、潜水艦十五隻を初め巡洋艦六隻、驅逐艦百十三隻、航空母艦一隻等を中心に數隻の戰艦等の集結が行はれ異常な空氣

人の時　自由主義英國の最後の人　出るかロイド・ジョージ

バルカン戰線の敗退につぐ敗退、ひやうもない慘敗によつて壓倒的な獨軍の優勢が又も實證されたのに比較して、英軍備の驚くべき低劣振りは英議會でも問題となり、政府の無能が痛罵され、チャーチル内閣の改造が眞劍に論議されてゐる有樣だ、一部にはロイド・ジョージ内閣等の下馬評まで囁かれてゐる程だが、そこまでは行かず、チャーチルとロイド・ジョージとの聯立内閣に落ちつくのではないかとの觀測が有力である、勿論誰が出たにせよ、一旦ぐづつき出した老英國の屋台骨を喰ひ止めることは容易の業ではあるまい

ロイド・ジョージはその名著『世界大戰回顧錄』でも我國に知られてゐる通り、前大戰當時の首相でありチャーチル首相の強硬對獨戰論者とは初めから反對だつたといはれる平和論者だ、從つてロイド・ジョージ翁が獨英戰停止の和平機運も英國內に擡頭することはたしかだらうが、寧ろその場合の英外交の行き方は一面強硬、一面宥和の一流の老獪なカムフラージュに役立てようといふのがヤマだらう

ロイド・ジョージ翁は日本曆でいへば元治元年生れ、當年七十八歳といふ高齢だが矍鑠たる元氣でチャーチル政策を眞向から批判してゐる、その『大戰回顧錄』第四巻の中で前大戰において『無能で石頭の』英將軍連が勝味のない戰爭に三百萬の生靈を犬死させたとこき下して大論難を起した氣概は今日も變らない、マンチエスターの貧家に生れて早く父を失ひ、靴屋の叔父さんに育てられ、金もなく學歴もなく波瀾といふ波瀾を腕一つで押しきつて來た彼だ、意志の強さ、負けじ魂、それから妥協政治の信念――過去の苦闘から滲み出る彼の發言は英政界でも重きをなしてゐる

彼の政治生活は二十七歳のとき代議士に打つて出たのに始まる、下院の長老、政界の大立物となり、商相、藏相を經て前大戰の軍需相陸相を歷任し、一九一六年自由黨主として首相となり戰時パリ平和會議をリードした、一九二二年辭職して以來黨務を見る他は、ゴルフと讀書三昧の閑生活に入り、十年程前から『世界大戰回顧錄』を執筆して話題を投げかけて來た、しかし所詮翁も自由主義元老英國の最後の人かも知れない

配電統合　關東地區官民懇談會

【東京電話】電力國策實施要綱に基づく配電統合に關する關東地區官民懇談會は、十二日午前九時三十分遞相官邸で開催、遞信省側村田遞相、山田次官、田村電氣廳長官以下關係官、受命者側より新井東電社長ほか十社代表出席、遞相より配電國家管理の必要なる所以を力說して業者の協力を要望する挨拶をなし、次いで山田次官より

一、各位の事業は第一次に統合豫定せるものにして近く配電特殊會社設立の下命あるべきこと
一、國家總動員法に基く勅令施行前と雖も統合に關する事實上の準備を進捗せられたきこと
一、統合の實施に關しては終始所轄遞信局との連絡を充分にしその監督指導に從はれたきこと
一、設立委員たるべきものの選定及び統合方法の選定（合併又は出資）は可及的速かに行はれた

きこと等の指示を行ひ田村電氣廳長官これが補足説明をなした、これに對し受命者側は當局の配電統合に關して積極的協力を誓ひ速かに實行する旨述べたが、大體十三日新井東電社長を幹事として會合、設立委員會組織等今後の方針を協議する筈である

放射線

【秋田】…縣農林學校前十四生徒廿人が中村教諭指導で、清凉飲料ラクミ、ピコラ、ノウイン、ハピーを釀造、收益年額一萬圓

【愛知】…熱田警察署では全員舉つて"飲んだつもり、買つたつもり"のつもり貯金を國防獻金箱へ

【高知】…幡多農業學校では、滿洲國興農部から送つて頂つた四百年前の蓮の實（黄十斤から發掘）が十數葉の美しい芽を出したので"今年は花を咲かせて見せる"と校長さん大よろこび

【山口】…萩市越ケ濱の大敷網に"海の姉君""龍宮の使"といふ珍しい魚がかゝつた、長さ四尺、胴幅二寸餘り、田中博物館へ寄贈

【鹿兒島】…鹿兒島市では、冠婚葬祭、入退營に用ふる酒類に限り特別配給する、市内一ケ月割當升五石六斗

體育　東拓好調に勝進む　商銀、專賣に惜敗第二日

京城庭球リーグ戰

十二日の京城實業庭球リーグ戰第二日は東拓が五―一で遞信をかるく破つて好調に躍り出した、殿實對商銀は商銀の黄基成、河村組の驚異的な游擊及ばず五―四で商銀敗れ去つた

【東拓】5―1【遞信】

（金日秀／金東烈）四―〇（金尹／山）
（李朴／正基三）四―二（金松／岡）
（朴大／正烈）四―一（高朴／木）
（中本／太郎）四―〇（城本）
（松／昌本）〇―四（李大／城）
◇第二ラウンド（遞銀コート）
（東日／烈）四―三（李大／城）

戰評　好調に滑り出した東拓は二敗一勝となり自信たつぷり邁進して行く、中堅選手が一段と光つてゐる大きな強味であらう遞信はチームの編成に苦悩の跡が見える、往年の名前衛朴觀星が後衛に轉じて出場はヒサーな感をあたへる、朴鐘驥、李福漢一組で喰ひ込む作戰も重荷だらう、試合は順調に期したところである

【專賣】5―4【商銀】

（三金／田村）四―三（李申／圭東）
（玉／水山）二―四（河黄／村基）
（香／山鍋）四―二（木尹／戸佑）
（平／山川）〇―四（大島／大本）
（大／野島）四―〇（黄／霞）
◇第三ラウンド
（金／田村）〇―四（河黄／村基）
（香／山金）四―一（大島／大本）
◇第四ラウンド（東拓コート）
（大／野島）一―四（河黄／村基）
（香／山金）四―一（河黄／村基）

戰評　大島、羅、金村三氏には大きな開きである、商銀新人平山は好調であるが中堅東柔中出の尹佑東木戸は第二年目からして昔日の覇氣なく又コンビも練習不足の爲か恐く中堅陣の活躍とゝもに河村に確實さを望み鄭士連の缺場はおしかつた、黄基成のバックに不安をいだかしめ、大島のゲームの運びを守り少しく慎重に相變らずの第二サーブは變化なく何んとかならぬものか、打球に自信をもつた鐵の當りは素晴しく黄に打勝つた、短かい球の捌きを研究してほしい、長身を利してのサーブは確實になつてゐる自重を望む【野師生】

二回表遞信山隊鈴木の六失で生還

遞獨庭球【第三日】

【名古屋電話】遞獨庭球選手最終試合第三日目は十二日午後零時半より名古屋七本松コートにて擧行、鶴田は清水に樂勝して全試合を終り四勝二敗、前日山形に破つた種田はこの日大勢戰の采を日本の勝者小寺を退け三勝一敗となり十三日に清水に勝てば鶴田と同率、かくて戰前の豫想に反し小寺は失格して殘る鶴田、隈丸、種田の三者競り合ひとなり愈々興味は昂まつて來た、三日間の成績左の如し

鶴田（三井）6―0、6―1、6―3　清水（甲子園）
種田（早大）3―6、7―5、10―8、6―4　小寺（神戸商大）
隈倉（慶應）6―3、6―2、6―3　山形（關學）

熱戰十二合　兩軍遂に引分　京城實業野球二回戰

遞信一勝の後をうけて實業野球遞信對京電の二回戰は、十二日午後四時廿五分から京城球場で佐田球審、平井、土井、鶴井屋三氏壘審の下に遞信の先攻で開始、遞信一點の差で連勝するかと見えたが九回裏京電遂に一點を挽回同點となし延長戰に入つたが、十二回まで兩軍得點なく日沒のため引分となつた、開戰七時廿四分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
京電	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	4
遞信（先）	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4

戰評　敵失によつて無安打ながら辛くも一回戰を搔つた遞信はこの日初回から見違へるやうな打棒をみせ、京電吉坂投手の度調を衝いて好球を見逃さず積極的打法に出で、一回先づ西田と高野の好姿の安打で一點、次いで二回に井上、高田の二壘打目の安打と四球、二、敵失三によつて三點と計四點をあげ好調な滑り出しに勢ひ京電を壓倒そのまゝ押切るかと思はれたが、その後吉坂投手に抑へられて沈滯な打力は影を潜め代つて京電の打棒が漸く芽を出す形勢とはなつた、即ち京電は四回木原中堅右に安打、二死後六吉坂の右翼線を抜く二壘打に一點、七回には谷諸安打、増田四球、金安打で無死滿壘となり秋山の一ゴロは谷諸を封殺したが續く木の遊ゴロを併殺せんとして二壘西田低投し三壘秋山生還後逸する間に増田金と續いて生還差を一點に縮め反撃の氣勢を擧げた更に京電は八回にも一死滿壘の機會を迎へたが後援續かずして止み九回二死となつて後藤の凡打に萬事休したと、思はれたが遊撃井上は不覺にも一壘へ低投したゝめ二壘にあつた走者有田は長驅本壘を陷入れてこゝに同點となり戰ひは延長戰へと入つた、その後兩軍何れにも得點の機會なく四對四のまゝ日沒のため引分となつたが、この試合を通じてみると熱戰を演じたとはいへ双方失策の續出に興味は反減され、たゞ兩投手の完投が特に賞さるべきであらう

遞信	打	得	安	犧	盜	三	四	殘	失
計	47	4	6	0	4	3	6	10	4

京電	打	得	安	犧	盜	三	四	殘	失
計	45	4	8	1	3	3	8	14	8

▲二壘打　增田、吉坂　▲併殺　增田―谷―高野―西田　▲暴投　吉坂　▲野選　眞田

けふの鍛錬運動

◇野球　京城實業リーグ第三日、殖銀對鐵道一回戰（四時半）京城球場
◇庭球　京城實業リーグ戰第三日、鐵道對殖銀（鮮銀コート）、本府對府廳（東拓コート）四時五〇分開始

夏場所好取組豫想

綾若―若潮　綾は右差し左の喧嘩四つ綾右を差せばすかさず足を跳ばして若の體を崩して行かうが、若殘して左を取れば上背に物をいはせ強く引付けて投げや吊りに出て熱戰とならう策を取つて永引けば綾に有利

鹿島洋―玉ノ海　これまでの成績は二對一で玉の負越、今場所好調な玉立ちあがり右を狙つて行かうが、鹿島が左を差し玉右前褌が取れなかつたら苦戰となる

肥州山―旭川　左相四ツ肥州右を取れば強引に吊つて行き左四ツとなつて引けば旭に變化があるだけに肥州に不利

增位山―照國　照に褌を引かれ四ツに組んでは増位に分はない、立合ひから四ツになるまで増位の運身の努力が見たい

五ツ島―小松山　三日目早くも瀬川に一敗した五ツには今場所の不安が募つて右膝の疾患が癒へず元氣も乏しい、小松は左、五ツは右の喧嘩四ツ五ツは立ちあがり右を差すや咄嗟に捻り技を見せこれが極らぬ時は小松の正攻法で苦戰となるのではないか

前田山―佐賀花　これまでの成績は二回とも前田の勝、突張つて佐賀の右を差して攻め懸けて寄り前田吊りを警戒して立てば、佐賀に寄りがあり面白いが四ツとなつて前田十分となれば佐賀に分はない

半島の麥收穫豫想は一割五分增收確實

農林局の調査近く完了

食糧對策遂行上、本年の麥作豫想は各方面から注視されてゐるが、內地は農林省の調査により不良と傳へられ樂觀を許さぬものがあるこの秋に當り朝鮮における作柄豫想は良好の折紙がつけられ穀倉朝鮮のため萬丈の氣を吐かんとしてゐる、即ち本府農林局では麥作の作況調査を急いで居り來る十五日には纏る豫定であるが本年は各道とも作付反別が相當增加してゐるのみならず作況頗る良好なので現況をもつてすれば作況は平年作一千二百萬石の一割五分以上增加（良好）は間違ひないと見られるので增収を考慮に入れると一千五百萬石を突破するのではないかと見られるに至つた

肥料販賣價改正

農林局では食糧增産に伴ふ重要肥料である化學肥料の新製品の入荷その他の事情により肥料の販賣價格を改正することゝなり豫て準備中であつたが、十二日附官報告示をもつて朝鮮肥料販賣取締規則に基づく肥料の銘柄及び販賣價格を改正即日實施した、即ち

一、包裝の需給逼迫でこれが緩和策として硫安、加燐酸止味三七・五キロの公定價格を新設したと・五キロ叺入の外に四一・二五キロ叺入を加へ從つて四一・二五キロ叺入の公定價格を新設したこと

二、過燐酸の販賣價格に十七、八九度及び十九度半、三十度の各道別の公定價格を新に追加設定したこと

三、石灰窒素二十一度ものゝ價格を追加したこと

四、鹽化、アンモニヤの價格を新に追加設定したが、その卸業者價格（三七・五キロ叺入）は左の如し（單位錢）

窒素成分	卸賣	小賣
二十%	四、四七	四、六五
廿一%	四、六九	四、八七
廿二%	四、九一	五、〇九
廿三%	五、一四	五、三二
廿四%	五、三六	五、五四

索道本社に依存協であつたので今回鑛山機械化の叫ばれてゐる折柄この方面の需要に應ぜんと朝鮮進出を企圖したもので既にその手初めとして朝鮮電力の索道工事を終り端川鱗鑛石の索道工事に着手せんとしてをり、これが終れば日本產金會社關係の索道工事に乘り出す害である

石油販賣統制會社七月開業

鮮內における石油の一元的販賣統制を目的とする朝鮮石油販賣統制會社（假稱）は目下關係者間に設立準備を進めてゐるが、大體六月中旬には創立手續きを了し、七月一日より業務開始の運びとなる模様である、同社は資本金三百萬圓の有限會社となるはずで、株主は各社の特約店にのみ限り、各特約店は會社の配給員としてそのまゝ營業をつゞけることゝなつてゐるなほ同社の社長並に專務は總督府の推薦によることゝなつてゐるが、既に人選を終つてゐる

漢水の工事進捗

來秋には一部を發電

漢江水電の華川、淸平の兩發電工事は資材の關係も愈よ確保され、昨年の洪水による損害も鹿島組に對する二百萬圓の損失補償によつて解決、目下鋭意工事を進めつゝあるので今後工事は極めて順調に進捗するものと期待されてゐる、而して現在の工程は華川、淸平とも基礎工事を終へ堰堤のコンクリート打込みも三分の一程度の進捗を見せてゐる、一方發電工事は水路も殆ど完成、水車並に發電機の配布を見るばかりとなつてゐる、この分で行く來年夏の洪水期前に本締切りを行ひ、華川は一部發電を行ひ得る豫定である

漢江の流筏問題

漢江水電の華川淸平兩發電所堰堤の出現により同江水域を利用する流筏問題が關係江水電の場合と同様發生するわけであるが、實際問題として華川の場合は從來殆ど流筏なく問題は北漢江下流と鱗蹄方面より昭陽江を下る流筏であるがこれも京春鐵道の開通以來途中同鐵道による搬出が行はれて居り、殘る流筏は量的に大したものではない、會社當局としては江原道當局とこれが善後措置について協議中であるが、結局會社側の方針としては淸平に到着する流筏は全部會社側において買取る方針である

香辛調味料の販賣價格改正

京畿道では本年度總督府告示第七十五號による香辛味販賣價格中第十一號を左の如く改正十二日附告示を以つて公布即日實施した

一、本告示施行前に購入したるものに付てカレー粉に在りては四〇瓦、四五瓦及び五〇瓦入罐詰のものは本表價格の四〇瓦未滿入罐詰又は罎詰の價格に依り胡椒粉に在りては七〇瓦及び七五瓦入の罐詰の價格は本表價格の六〇瓦以下四〇瓦以上入罐詰又は罎詰の價格に依るものとす

朝鮮工業視察團、近日來鮮

【大阪電話】京都大阪を中心に發達した輸出向け中小工業の朝鮮移駐を目的とする朝鮮物產協會の斡旋で在阪セルロイド、刷子、レーヨン……

……るが、右につき十二日正午から堂島ビル淸交社に於て朝鮮物產協會……理事、業者代表など集り、スケジュールを協議したが、一行には商工省工業指導所大阪支所長、田……橋大阪府立工業試驗所長、府立貿易館長、淸水阪大教授なども參加、釜山、大邱、平壤、京城……を視察し……工業懇談會を開き……することゝなつた

東京索道朝鮮進出

東京索道會社では豫てより朝鮮及び滿洲方面への進出を計畫中であつたがこの程鮮滿方面を總括する出張所を京城淺野物產支店に新設、取締役佐藤公平氏を所長に任命、又南京城に新工場を建設することになつた、從來鮮滿方面における索道事業は淺野物產京城支店に於て計畫を樹てゝゐたが兎角東京

內鮮間に人事交流

海運行政緊密化を示唆

海運統制の高度化に伴ひ、內外地との統制事務はさらに圓滑化されこれが運用は內鮮間の連絡を……緊密化の必要が痛感されてゐたが、今回遞信省、總督府間に協議が進められてゐたが、今回遞信局から中村事務官を遞信省管船局近海課附事務官に、省から木村數男事務官が海事課附として任命、相互に交流人事を行ふことになりそれぞれ八日附發令をみた、この事務官の交替によつて半島と內地との統制事務はさらに圓滑化されこれが運用は內鮮間の……期し得されるところが多い、新事務官木村氏は昭和二年の信官吏練習所第二部行政科出身、高文パス、屆國京城地方遞信局長と同期であり、通信系統から海事に入つた……

京都電燈八分据置

【京都電話】京都電燈では決算重役會を開き利益金處分……

繭の協定値基五十四、五掛か

朝鮮における繭の値基協定は內地の春秋を通ずる値基を協定、掛目六十掛と決定したのに鑑み、本府農林局でも協定方法を研究中で、蠶業委員會を設置して委員を任命これに諮問するか或は從來通りの行方をするか、何れにせよ今月中に協定する豫定である、而して本年の協定は新會社が値下りの際に備へる維價積立を行ふこととなつてゐるので安定性がある、從つて協定は割合運びやすいものとみられる、たゞ掛目は大體內地と五掛程度の開きが例とされるので朝鮮における掛目は五十四、五掛處と見るのが妥當ではなからうか

蠶業北進顯著

朝鮮蠶業の北進は年と共に……つゝあるが就中咸北道明川郡は……業に急ピッチを擧げ現在……三百四十五町步に過ぎないが……一躍四十萬本（凡そ五十六町步）增殖、更に明年は八十萬本……百十二町步）の增植を計畫し……り掃立の如きも昨年の春掃立……十六枚、秋掃一千二百枚に比し本年は春一千四百枚、秋一千……枚の掃立を行ふ方針である

朝窒增資

一億圓に

無煙炭消化論（三）

鮮內石炭事情展望

炭聯調査課 橋 吉藏

されば無煙炭消化への前進は、燃料不足に對する今日の課題たるのみならず實に朝鮮產業の將來性を卜するところとさへ考へられる點にこれと關連して考へらるゝことは炭價の問題である、生產品に對する公定價が次第に普遍化するに伴ひ炭價の問題は需要家にとつて、最も大きな苦痛として吾々がその聲を聞くことは屢々である炭價の問題には幾多の點が包藏されてゐるが、こゝではその中で鮮內に供給される外來炭の價格が自然の勢ひとしてかさまりつゝある一例を述べよう

即ち昭和十四年度において朝鮮內に供給された外來炭の主なるものについて見れば、九州炭は全移入炭の六九%、樺太炭は一〇%弱であつたものが昭和十五年度においては九州炭五七%、樺太炭二六%となり、更に本年度豫想においては九州炭五三%、樺太炭二九%となり、九州炭は比率累減を示すに反し樺太炭は比率累增の傾向を示してゐる、又輸入炭について見れば、昭和十四年度において滿洲炭は全輸入炭の五三%、北支、蒙疆炭四三%であつたものが、昭和十五年度においては、滿洲炭四一%、北支、蒙疆炭五五%となり、更に本年度豫想においては、滿洲炭三三%、北支、蒙疆炭六二%となり、滿洲炭は減退を示すに反し北支、蒙疆炭は累增を示してゐるが、この傾向は將來における鮮內供給炭の產地別觀察を示唆するものとして注目に値するところであらう、のみならずこの趨勢より見れば、地理的關係において比較的近距離炭の增加率は頗る供細を示し、或は累減を示すに反し遠距離炭は何れも累增の傾向を示してゐるのであるが、この結果として運賃諸掛高となり從つて炭價高のが次第に增量供給され、側の生產コストに影響するところは可成り大きなものと見ればならぬ

さればこの點より見るも無煙炭の混燒若くは無煙炭への轉換可能とすれば無煙炭はこれ等外炭に比し相當輸の安値に炭價が……されてゐる關係上、生產コスト……への影響は大きいものがあら……このことも前記無煙炭への……に附加して置き度いところで……以上において無煙炭への……可能の範圍內において進めら……ことは現下の情勢より見て……業の發展上絕對に緊要な問……

物價問答

問 一九・一八前の垈地代金 昭和十四年五月六日垈地を坪十三圓にて賣買契約をなし分割登記未濟のため未だ代金は貰つてをりませんが此處分割登記をなし契約通り坪十三圓にて代金を受取つても差支ありませんか御敎示下さい（寺洞一讀者生）

答 御尋ねの點だけでは一筆又は數筆の土地を分割讓渡されたものか、又は一團の土地を分割讓渡されたものか分りませんが前者の場合であれば九・一八以前に取得した垈地を賣るわけで宅地建物等價格統制令實施後でありましても一回だけは自由に賣れますから差支ありません

メリヤス工業の代表十名から成る朝鮮工業視察團は十五日午後零時十三分大阪驛發列車で出發す

ネクタイ査定委員會

京畿道內地產ネクタイ査定委員會では十二日午前十時より長谷川町公會堂內において第一回內地產ネクタイの査定委員會を開き府內在庫品の査定を行つたが、十四日迄引續き每日午前十時より行ふ

（配當年八分据置）を裁定來る廿八日開催の株主總會に附議する

京畿煉瓦工組總會

京畿道煉瓦工業組合では十二日午後二時より府民館に定時總會を開き

一、第二次線材配給の件他定款改定の件

一、十五年度の歲入決算承認

聞き左記議案を原案可決した

一、昭和十六年度事業計畫

二、同年度における借入金の最高額決定

三、同年度における一組合員に對する貸付金の最高限度決定

四、定款一部改定（役員の任期了後の伸長規程廢止）

五、處務規程中改正

六、給與規程中改正

七、統制規程中改正

八、理事補選

九、統制委員選任

一〇、信用評定委員選任

十一、昭和十五年度事業報告の件

十二、昭和十五年剩餘金處分の件

十三、煉瓦販賣價格協定

十四、昭和十五年度生產煉瓦持越品の販賣に關する件

十五、組合員異動報告

十六、定款一部變更申請取下

琺瑯鐵器工組

朝鮮琺瑯鐵器工業組合では十四日午後三時より同組合事務所に通常總會を開催左の件を附議決定する

昨年度產原料葉煙草收納高

專賣局では昨年十月二日より今年三月十一日迄の間昭和十五年度產……計畫の進捗と關係事業の發展に伴ひ、これが所要資金も年に膨脹し……

夕刊後の市況

公定價格

鉛筆の販賣價格

事務用品の販賣價格

老春 (88)

川口松太郎（作）　伊勢良夫（畫）

過ぎ行く日（八）

思ひもよらない父の發病が、結婚第一の椿事だつた。

人生の幸福を最も強く感ずべき夜があわたゞしく明けてしまつてそれから後、局長が死んで行くまでの幾日かは、幸福も何もなかつた。夜の目も寝ない看病に疲れた千枝子は、良人の事なぞ構ひもしなかつた。目を泣き腫して泣いてゐる母と二人が枕元に坐つたまゝだつた。

ちようど、三石村に市が立つて爲替貯金事務が多くて、どうにもならぬほど忙しかつたが千枝子は局へ出なかつた。局が生死の問題だけに、不服は云はぬが内心では面白くなかつた。

「親が死のうとも、ゆるがせには出來ぬ仕事を持つてゐるのだ。事務を棄てて看病をされても、喜ぶ局長とは思はない」

不平で堪まらぬが、口には出せなかつた。

窓口事務と、電信と、岩田とを一人でやつてくた〳〵に疲れ果てながら夜は夜で局長の看護で、ロクロク眠る間もなかつた。

發病後は一言も口をきかず重態をつゞけながら、最期の息を引取つて通夜。葬式。火葬。埋葬その一つ一つに地方民特有の風習があり、都會居住者のやうな簡單なわけにいかなかつた。

村の舊家と云ふ愚かしい誇りが何時までもまつはりついて、局長が息を引取るや否や。

「千枝子はまだ喪服も持つてゐないのにどうしやうどうしやう」

とおろ〳〵うろたへる愚かな母だつた。がそれが必ずしも愚かしくない風習の一つで、局長の死後、二時間の後には、村の呉服屋が呼ばれて喪服の新調を命ぜられたり葬式を飾るべき一家の式服が型通りに作られたり、堀の目には、馬鹿々々しい事が當然のやうに處理されて行く。父を失つた悲しみが一先づ打ち切られて形式的な事務が獨立して行はれる。

さう云ふ中でも彼だけは、取殘されたやうに忙しい仕事を、一人で静かに片付けてゐた。やがて葬式も終つて佛事もすんで、家の中がどうやら平靜に戻る頃には新夫婦の情感も[illegible]さめ、白々しい淋しさが二人の間をへだてゝゐた。

「私たちの結婚が、お父さんを殺してしまつたやうな氣がする」

何も彼もすんだあとで。

「結婚式の夜、お父さんがあんなになるなんて、私のやうな親不孝はない」

「さういはれると、僕にも責任があるやうな氣がするぢやないか、僕たちの結婚がお父さんを殺したわけでもない」

「そりやア、さうですけれども、何だかそんな氣がして……」

「止し給へよ。そんないや想像は」

思はず聲を荒くした。堀が、良夫として千枝子を叱つたのはこれが最初だつた。驚いて良人の顔を見上げて、悲しさうに目を伏せて、それつきり、もう口をひらかうとしなかつた。

太平洋を忘るな

名畫『三笠』艦上の名參謀

飯田中將 日本海戰を語る

海軍協會朝鮮支部發會式參列のため十二日午後二時十八分着列車で入城した海軍協會副會長飯田久恒海軍中將は同七時半から遞信事業會館三階講堂で、時局講演會の演壇に立つたが、この人こそは海軍記念日を旬日後に迎へるけふ、日本海大海戰の歴史的記録を語るに最もふさはしい勝戰者であり、同時に『皇國の興廢…』の名言をのこした旗艦三笠艦上における東郷元帥麾僚の一人なのである、日本海戰に必ず見る三笠艦をみるならば、右舷から戰前の緊張を双頰に漲らせて敵艦をのぼつて來る青年參謀の姿に必ず目をとめるであらう、その人こそ三十六年前の若き日の飯田中將なのであるが、當時を追憶する同中將の言葉を聽けば、何處か東郷元帥の風手を偲ばせる古武士そのまゝの面を硬張らせて語るのであつた【寫眞＝飯田中將】

『我が海軍の今日あるのは全く日本海大海戰の勝利によることはいふまでもない、その勝利の原因は色々といはれてゐるが、要するに戰ひに臨む國民の意氣込みだ、いはゆる日本精神である、―ヨーロッパから迴航して來たロシヤの艦隊にはどう考へても無理があつた、訓練の足りないもの、裝備の悪いもの、また乘組員の資質等が、當時日英同盟を結んでゐた關係で艦隊の情報はすつかりこちらに掴つてゐたわけだ、〃バルチック艦隊おそるゝに足らず〃と、すでに敵を呑む氣概は國民の一人一人に力強く出來上つてゐた、しかも明治卅七年八月十日の旅順海戰、八瀨、八島等我方に相當の損害があつたので、東郷元帥はじめ各將兵は異常の覺悟で立つてゐた

要が入つてゐる、あの信號はよく人から問はれるのだが東郷元帥がその場で〃皇國の興廢〃の名句をつくり上げたものではなく、ネルソンがトラファガルの海戰で掲げた信號と同じものなのだ

あゝした場合あの信號を掲げればかう云ふ文句になるといふことは百年の昔から決つてゐたことなのだ、あの繪は今から三十六年前、私が參謀少佐をしてゐた卅七のまだ髯の黒い頃で、偶然歷史的な繪の人物として遺されるやうになつたのだが、あの繪が出來た經緯といふのは日頃から沈着な度胸を持つてゐた伊地知艦長が何かの用意にとその大海戰直前の各幕僚の配置を手帳にのこしておいたのを、のちに東條止太郎といふ畫家に命じて描かせたもので、若し、通報完了が一分遲れて伊地知艦長の手帳に私の名が書かれなければ、歴史的人物にはなれなかつたらう』

中將の言葉は更につゞいて激戰最中にうつる

『兎にかくその時の東郷元帥の冷靜果斷は、文字通り神近にいものがあつた

敵は近づく、元帥はぢつと双眼鏡を握つてうごかない、私達はそばで氣ばかりが焦つて元帥の一擧手一投足にも神經を費した、時正に午後一時五十三分、元帥は一文字に近づく敵艦隊を凝視しながら無言で右腕をサッと左へ振つた『取舵―』の命令だ、私には何が何だか判らない、艦長は命令通り『取舵―』を復命する、三笠艦を先頭に全艦隊は徐々に敵の前へ身を横へつゝあるのだ、私は、今でこそT字型作戰と稱へてこの機敏に敬服するのだが、實際見た目では正直なところ、司令官は氣が狂つたのではないかと思つたほどだ

しかし、この作戰は圖に當つて完全包圍となり逃げるを逐ち殲滅してしまつた、八月十日の旅順海戰では僅か二分の出だしの差、一時間一浬の差で我が艦隊は敵を追はなければならない羽目になつたことがある、それだけの差でも戰鬪の場合の追ふ身は辛いものだ、この經驗があるから、東郷元帥は先づ敵の逃げ口を摑んで包圍の態勢をとつたのだ、全くえらい、これこそ百戰錬磨の賜であり天佑だ

天佑神助ばかりを繰り返すやうだが、しかし、これには實力を信頼する國民の協力があつてこそ成されたもので、現時世界の波瀾狀態を見、太平洋の風雲を感じるとき國民はいまこの日本海役における大勝利を回顧して、再び〃我に力あり〃の敵を呑む概が必要なのではないかと思ふ―』

終りに中將はロンドン駐在武官として活躍した第一次大戰の經驗から割り出して豫測される獨軍の英本土上陸作戰により敗戰の英海軍は地中海を脱けて極東シンガポールに到り、こゝで米國海軍の援助によつて東洋における足場を築き、太平洋を新戰場とするやもはかり難い、從つて我々は一瞬一刻も太平洋を忘却することは出來ないと語つた

神戸港の米汽船 空氣銃を發砲

邦人二名を傷つく

【神戸電話】十一日午後二時神戸を出帆ホノルルに向はんとするアメリカ汽船P・モーアス號から不法にも發砲し邦人を負傷せしめた事件が起つた、即ち出帆間際、午後二時五十五分頃同船船尾の附近から米國人が、作業中の神戸市水道局第七號給水船を目掛けて新製空氣銃を發射、同船機關部員及び定部に命中、一發は機關長中村仁之助氏に命中、本間氏は全治一ケ月の重傷を受けた、神戸水上署では直ちに同船の出帆延期を命じ同船を港外に廻航取調中である

なほ同船は引揚米國人など凡そ四百名を乘せ十一日朝八時半神戸に寄港したものである

心機縁にも劣らぬ位に大きい、しかし『ドイツ人の風下に立つ位なら死んだ方がよい』と固い決意のイギリス人は爆彈でへこたれる樣子は一向に見えない、しかし御に渦卷く黑煙の中にある破壞家屋の跡を見て記者は戰場を弔ふ文』が口に出て來た【ロンドン十二日同盟】

大相撲夏場所　四日目

西軍漸く強し

青葉、肥州を寄倒す

【東京電話】四日目勝負

勝	決り手	負
倭岩	寄倒し	若潮
羽黒里	寄切り	小晶川
豊島	寄切り	藤ノ川
鶴ケ嶺	外がけ	四海波
鯱ノ里、八方山	預り	
大邱山	下手投げ	小戸岩
松ノ里	外がけ	佐渡島
両國	突出し	大潮
清葉川	うつちやり	綾若
双見山	うつちやり	藤ノ里
備州山	おしだし	龍王山
相模川	引落し	小松山
九州山	寄倒し	桂川
松浦潟	突放し	櫻錦
旭川	下手引落し	綾昇
佐賀ノ花	突出し	出羽湊

時間一杯立つや、佐賀ノ花突く〱は つばりで攻め、つきまげて赤柱に退き土俵際で堪へんとしたが左膝をつきあつけなく敗る

二瀬川（突放し）**笠置山**

立上るや二瀬川突くつきまくり東十俵に攻め、笠置山立ち直る餘裕を與へず一氣につき放す

玉ノ海（下手投げ）十三錦

名寄岩（寄倒し）神東山

照國（寄倒し）鹿島洋

時間一杯立つや激しく突き合ひ鹿島ぐい〱と進み行司たまりに攻めてゐたが、照國激しく突き返し右四つ照東土俵に寄り詰め、鹿島懸命に土俵際で殘すを照腰を落して右差手を拔き、鹿島のうつちやりを警戒してぐつと寄倒す

青葉山（寄倒し）**肥州山**

前田山（寄切り）九ケ錦

羽黒山（突放し）增位山

安藝海（寄倒し）冨士田

五ッ島（はたきこみ）楯甲

男女川（寄切り）磐石

双葉山（上手投げ）大和錦

▲打出午後七時二十八分▲今日の御輪＝東十二、累計五十六、西十四、累計五十一

夏場所大相撲四日目（旭川、下手ひねり　綾昇）＝電送

『取組言上』を中止

【東京電話】盛況の夏場所四日目の十二日國技館の場内ではラムネやアイスクリームが飛ぶやうに賣れ早くも夏來るを思はせる前場所から前頭へも內地同樣入相撲電視が放送され好評を博してゐるが時間の制限で最後の二、三番が何時も入らず『一つ工夫してくれ』と希望があるので協會では五日目の十三日から中入後の『あすの取組言上』を廢し、印刷物を作つて離價なけでもくばり、この時間の節約をはかることになつた

これで永年土俵の一名物だつた取組言上の行事の錆びた聲も四日目の式守伊之助の讀みあげを最後に聞かれなくなつた譯だ

第一回公判

親英派暗殺計畫

【東京電話】一昨年六月天津イギリス租界問題に端を發し對英强硬外交を標榜し所謂親英的現狀維持派打倒を目指し重臣顯官の暗殺を計畫した大日本皇主宰者佐々井一晃氏（五〇）栗山製頭本間憲一郎氏（五〇）など九名にかゝる殺人豫備事件に繼ぐ…及び物取締規則違反事件の第一回公判は十二日午前九時半から東京刑事地方裁判所で宮本裁判長、井本、栗原両陪事係、花井、宮内、奥山、小野、角岡、宮部、伊藤各辯護人立會の下に開廷

井本檢事から一時間に亘る公訴事實の陳述がありこれに對し佐々井氏などは大體公訴事實を肯定したが、本間氏はダイナマイトを揃つたことはないと否認し詳細は審理の際に述べると答へこれに關係のある本橋修天氏（五〇）も同樣に否認し早くも前途に一抹の暗影を投ずるに至つた、次いで佐々井氏の審理に入り同十一時五十分一先づ休憩、午後一時再開、引續き同氏の訊問を續行した

專賣局で防諜講演會

十二日から實施せられたわが國最初の國民防諜週間に際して朝鮮專賣局ではこれに呼應して各地方專賣局、直轄出張所、研究支所等に適當な機關を設して趣旨の徹底を期し防諜體制の確立を圖ることゝなつたが、本局ではこの週間中を利用して同局で防諜に關する講演會を開き專賣局職員に聽講せしめる筈

安東に爲替違反

日滿人十一名を檢擧

【安東電話】爲替管理法を潜る大掛りな違反事件が安東市警務處經濟保安科に摘發されその事件の全貌が明るみに暴露された〇

事件は安東市中富街中和銀行支配人以下日滿人十一名が巧妙な手段により天津に送金し利鞘稼ぎ師に檢舉されては密輸まで働いたもので十二日安東警務處からの發表によれば中富街中和銀行支配人郭哲臣（三〇）奉天市居住綿布行商稲捷三（〇）安東市前集寶街集祥泰方店員高錫恒（三）ほか一名は山田四三郎早稻田久仁勝、淺田新太郎、横井信市、小高東藏等と共謀し前記郭哲臣、高錫恒、王ㄧ木、東正智の所有金五萬圓を中和銀行から搬出し中國聯銀券と會昌をなすべく本年二月十七日滿炭礦北票礦業所が天津において苦力募集經費の支拂をなすことを聞き込み同所の幹部を抱き石五萬圓を供託せんとして容れられなかつたが、なほ執念深く說き共犯者小高は五萬圓のうち二萬五千圓を供託すべく送金し、同月廿日天津において支拂をうけ一割五分の三千七百五十圓の利鞘をとつて殘餘は錦州ホテルに一時あづけ、同月末ごろ山田、櫻井ほか天へこの大倉五郎と共謀し、うち一萬二千五百圓を奉天で銀行小切手にかへ天津に密輸出し一千八百七十五圓の利鞘をとつて聯銀券に引替へた金は一味中の者が同志を裏切つて遊興に費消したほか僞造小切手を振り出してお互ひに誤魔化すなどの醜實極まる事實も判明警務處經濟保安科の係員が各方面に飛び天津及び北京の日本側機關並に滿洲國各機關の協力の下に一味の大半を檢擧したものである

敵最後の國防線に

哀れ擬兵の藁人形

―永久陣地脆くも覆滅―

【大黃河河畔にて十二日同盟】山西南部山岳地帶の新戰場に十日秋を想はせる蕭々たる冷雨降りしきる裡を我が藏岡山口、松本、草野、總合各精鋭部隊の電擊的進攻によつて十一日までに西交河上流地區の溪谷に沿ひ嶮谷を誇つた敵第十二師の根據地や軍事施設を始め第十二師軍司令部、七泉村の萬鑑寄、軍人倶樂部、兵舍、及奇峰村、陳家山莊家峪などの大兵舍は悉く覆滅された、而もなほ十二日も引續き掃蕩に委せて四交河溪谷を瀨り、或は兩岸に獨立つ岩山を攀ち退路を求めて右往左往する敵をあくまで追及してゆく士氣れの皇軍は、山西南部の山岳地帶に第三集團軍一兵の存在をも許さじと續けられてゐる、溪谷美豊かな仙境初宮河にある第十二師の、大尉以上の軍人倶樂部奇峰村の大兵營は何れも白赤の煉瓦を積上げた堂々たる近代建築、而も壁々しいばかりに文字、繪畫を所狹しと書き連らねて風光美にそぐはぬこと夥しい、部落の淳朴な人々が材料を集めて、造樂したであらう廟の壁にまで『蔣委員長は民族的英雄』などの文字を大書するに至つては抗戰に血迷へる中央軍將兵達の無智振りを物語るものである、最近天然陣地へ將兵の續出に惱んだものらしく布告文が至るところに貼り出されてゐる、邢家河の部落外れに丸太を組んで等身大の藁人形が三ツぶら下つてゐる敵兵士が日本軍に擬して銃劍術の練習を行つたものである、而も我軍の進攻するや殆ど一回の近接戰白兵戰をも交へず遁走したのだから、我軍將兵の嘲笑を買つたものである、雨に煙る大黃河に近い中條山脈に一切の戰略條件を完服し、食糧の補給に惱みつゝも將兵は毅然として、山徑を縫うてゆく日本軍の底知れぬ强味を記者は今更の如く再認識したものである

絢爛『扶餘回想曲』

【京城】扶餘一體の聖地扶餘神宮御造營に感激して舞踊を通して內鮮一體の美を說く『扶餘回想曲』は十二日から十六日まで毎夜二回府民館に華麗な舞台をひらくが初日十二日夜は此舞台に觀衆は灼けるやうに魅入り絶讚の拍手を贈つた【寫眞＝聖明王の宮殿における圓舞】

感心な車掌さん

京城下往十里二五五ノ四京電バス運轉手鄭龍澤氏（三〇）は十一日午後一時頃獎忠壇公園前を運轉中、新堂町三〇六獎忠壇國民學校一年生鄭山元均君（八）が公園入口貯水池で遊戲中過つて水中に轉落したのを目撃、直ちに救出、西四軒町前田醫院に運んだがその機敏な行爲は賞揚されてゐる

青森で八百戸燒く

【青森電話】十二日午前十一時十分青森縣上北郡三本木町米庄町六丁目黃金湯から發火、折柄の風速十三米の風に煽られ火の手は見る〱うちに燃え擴がり正午までに凡そ五十戸を燒き目下なほ延燒中である

【青森電話】別報、十二日午前十一時十分頃發火した青森縣上北郡三本木町六丁目の火事は折からの烈風に煽られ火勢猛烈に擴がり園下方面の三本木通、雷鳴通を一舐めにし火の手は更に東南へ〱と進み五丁目から四丁目大通りの商店街を烏有に歸せしめ八ノ九消防より馳けつけて來た警防團員必死の消火の結果漸く火元東南方一面を燒野原にして約八百戸燒失し午後二時半頃鎭火した、原因は火元黃金湯の不始末からと見られ、燒死傷者目下取調中である

全北の火事

【全州電話】十日午後九時半全北淳昌郡邑内本町某料理店調理場方で爐爐の不始末から火を發し瞬く間に十二戸八棟を全燒し淳昌邑防團の必死の努力によつて同十一時半鎮火したが損害は六萬六千四百九圓で人命に被害

目出度く手打ち

喜びの遺族薗田さん

既報＝夫を聖戰に捧げ、わが子を征野に送り、か細い女手で銃後を守る出征勇士遺家族『奪はれの家』に、理不盡にも家主が突然『その借家を明け渡せ』と强談判に及び町內愛國班員の激昂を買ひ心ある人の義憤を喚起した京城平洞町『薗田さん一家』の氣の毒な事件は敢然たる社會の同情となり十二日午前旭町某官吏夫人の買取り申込みを始め續々と注がれる愛の手に薗田さん一家は渡る世間に鬼はないと感謝の涙にむせんでゐるが、一方十二日關係官署の『行届いた處置で家主伊藤政介氏もまた毅然と自分等の非を悟り〃不德の致すところでした、どうか水に流して氣持よく住んで下さい〃と店子薗田ツ子さん方へ申し出て目出度く手拍子をうつた、かくて銃後の不明朗な紛擾はさつぱりと一掃され精力しい姿をとり戾した

薗田さんはほつとしたやうに語る

『皆さんが、ほんたうに親身になつて御心配して下さつてただ感謝の涙に咽んでゐるばかりです、憲兵隊の御骨折で伊藤さんもよく判つて頂けたやうで本當にほつといたしました、大家さんをはじめ、愛國班の方々には御心配をかけまして面目もございません、皆さんが一緒に泣いて下さつた時の有難さと心強さに御禮申しやうもありません』

◇

田さんにはどうか元通り安心して住んで戴くことにしました』

京城憲兵分隊では遺家族薗田ツ子さんと家主伊藤政介氏を招致事情の一切を聽取、事件解決に當り、伊藤氏の娘夫婦は借家住ひと決り遺家族薗田さん一家には『家』に對する何の脅威もなくなりこゝに圓滿な決着となつたが、同班班長では銃後の愛國班員として職人愛國の手を差し伸べるところまで…

滿洲に特志兵後援會を

【新京電話】陸軍特別志願兵後援會の結成は內地、滿洲國でもますます…

見習ふべき熱意

…婦人會…

しかし 日本婦德を基とした强き銃後の力とならうとの自覺によつて、十四年十二月第…分會長の後を繼つて改組分會の分會長に推薦されたのが現分會長朴南山史である、女史は釜山の出身、大正十一年東京女子醫專を卒業した女醫さん、夫君鄭錫謨氏も岡山醫專出身の醫師で、現國民總力聯盟として全鮮人國國民の代表者たるに恥ぢない洵に紳士、夫君鄭氏の良きアドヴァイスによつての朴女史の朝鮮分會に對する滅私的な育成は發會當時の七十名に比し現在の會員數は六百名の多數に達した

半島の人々たち ⑪

北支篇 ㊀

どうだ！飛んだぞ

お、我らの朝燕號

昨年七月七日、北京郊外にて盛大に行された獻納機命名式場でのとだつた、今般完成したばかりの朝燕號（愛國第四六五號）が既に大空の彼方に羽ばたき去つてしまつたのになほ朝燕號の雄姿を大空に求めて止まなかつた一團の人々があつた、太陽の直射の下にはふり落つる涙を拭ひもせず――北京居留民團民務主任岩本常基氏（京城府業團出身、京城師範卒業後半島の教職にあること二十年）をはじめ北京日報編輯主任松村昌熙（忠清北道沃川出身）昭和日報所主幹新木一雄（京畿道漣川郡出身）京城師範卒業、前北京居留民會議員、朝鮮日報出身、前居留民會議員）前朝鮮日報北京支局長金楨萬（平北新義州出身）の五氏で我が北京在留半島人の朝燕號獻納運動委員たちの感激の姿だつた

今でこそ北京在留邦人々口（居留民數三月一日現在）八萬九百八十三人中半島出身者は一萬九千四百七十人と飛躍的に增えてゐるが、昨年初めには一萬人足らずの狀態だつた、それが華北電々の愛國機獻納に次いで、同年四月前記五氏が朝燕號獻納を設立したものだが、最初はその實現が危ぶまれた、しかし委員の獻身的な奔走、獻身的な幹旋は功を奏し、在留半島人の愛國熱は意外に物凄く、僅か三ケ月のうちに豫定額の七萬五千圓を遙かに突破し、九萬三百三十圓の愛國獻納資金が集まつた…

…は北京忠靈塔建設基金へと進されたた、我が半島出身者一同はは『どうだ、やれたらう――』といつた自尊心は胸に迫つて來る熱いもの一中に溶け込んで、今はたゞ朝燕號の勇姿を心から祈るのみだつた、その當時を回想していま在留半島人は異口同音にかういふのだ、『腕力を盡して出てばどれ程立派なものが出來上るのだ―』

東亞共榮圏建設の世界史的擔…

…が身に沁みて來るのだ―』低調ながら次第に熱を帶びて來る中將の面は、胸のうちに當時の激戰を追懷するかのやうに輝くのだつた

『この海戰の七不思議といへば有名なものだが、隆ついまんでその一つ二つをいへば天佑神助を人爲的にするやうな下言は悪いが實に面白いものがある

その一つは例の『敵艦見ゆ』でこれは廿三日朝哨艦から先づ最初の通報がはつ いたが、これは偶然で張り切つてゐる全將兵をがつかりさせたものだ、だが、廿七日確實な通報が信濃丸から來たときには、お陰で實に速かな出動が出來て秒速を爭ふあの場合、最初の通報はがつかりものではあつたが、作戰の上では正に天佑であつた』

と中將は海戰直前における種々の奇蹟を語り『迷信とか御幣かつぎだけではなくこれこそ全艦隊の意氣を新にするものだつた』と語つて、いよ〱開戰直前の三笠艦上における緊迫の色に物語はうつつた

『誰でも知つてゐるあの三笠艦上の繪は廿七日午後一時五十五分發砲開始十三分前の模樣をそつくりうつしたものだ、信號Z旗を掲げ終つて全艦にそれが行きわたり、引き下げようとしてゐるときで、あれは決して上げてゐる場面ではない、その證據に信號兵曹石丁の報告をする爲にメガフオンを上げる私の

獨機襲撃に慘憺

三週間振りに熄んだロンドン

…市民は二週間振りで眠れぬ一夜を過ごした、警報解除になつて空を見上げると麗らかな天氣だ

〇…街頭に出れば殆んど二、三町毎に硝子の破片や崩れ落ちた煉瓦が山になつてゐて、自動車のタイヤが忽ちパンクしさうだ不發彈も方々に落ちたと見え『通行止』『迴り道』と書いた掲示が出てゐる、早朝まだ七時而も日曜日といふのに焼け出された市民、不發彈で立退きを命ぜられた女、子供が身の廻り品を手におろ〱しながらバスを待つてゐる、途中まで來たらどうしても自動車が通れない、二三度附近をぐる〱廻つたのち…十本となく集め大量の活動であるをしてゐる、消防隊はホースを向け、殊にガス管が引火して時々恐ろしい音を立てゝ爆發するのでうつかり外も歩けない、在留邦人は大使館員をはじめ一同無事だが、日本人街なども火の子が飛んで來るので、一時留守番の加藤領事が重要書類を持出し避難しようと思つた位だといふ

〇…空軍省では英空軍の夜間戰鬪機が大いに活躍して獨機襲撃機三十一機を撃墜したと發表したが、ロンドンが蒙つた損害は倫敦のシティー繁華と二週間前の都…

山道氏

米國で急逝

…氏は十一日…病氣のため…

親鸞上人降誕會

親鸞上人降誕會は十一日午後一時から京城本願寺で千五百の門徒參拜、南山にこだまする讃綴の聲も賑かに執行、式典について上野輪番の感謝記念講演、本願寺映畵班の宗教映畵上映、兒童に菓子の接待あり二階廣間の本願寺同陽會出陳の獻花大會（十一、十二日）も婦人の參觀者で終日賑ひ、午後五時閉會した

【寫眞＝獻花大會】

電話架設料を八十圓高に
痛し痒しの"躍進京城"

京城の電話架設料金が今年から三百八十圓となつて從來の二百圓から一躍八十圓高くなつた、朝鮮における電話架設料は去る昭和五年遞信局告示百七十一號により加入者數に應じて架設料を指定されてゐるがこれによると京城の電話架設料は昭和十四年に加入者が一萬四千百名であつたゝめ級別からみると加入者五千名以上、一萬五千名以下の所謂三級地となり架設料は三百圓となつてゐたところ昨年に入つて加入者が一千百名以上も增加し一萬五千二百名となつたので三級地から二級地へと躍進、架設料も三百八十圓と變つたもので ある、このほか地方で昇格した都市は鎭海、江陵がそれぐ最下級から一級昇格して架設料二百圓となつた、なほ現在一級地は加入者十萬人以上の東京だけで京城は六大都市に次いで二級の第七位となつてゐる

水源地が開くまで少しの我慢です
"減水騷ぎ"に府の要望

半島で最も水量の多いはずの京城水道がこれはまたどうしたことかこのごろ井筒の水のやうにちよろちよろと細長く尾を曳いてお台所の奧さん連をびつくりさせたり困らしたりしてゐる、月初めから觀路、本町、西大門、永登浦……と始まつてやがて全京城に及ばんとしてゐる、この減水はもちろん府民の水の濫費によるものだが、この分ではお台所の能率もあがらず折角結成した愛國班防火係の效果もあがらないといふわけで、もう少しどうにかなりませんか…いやいつたいどうしたらいいんですか…と十一日北崎府水道課長を訪ねて豚の尻ッ尾のやうに情ない水道について本氣の『水話』を訊いてみる、以下その一問一答

問　どうして水量が減つたか

答　永登浦、龍山、東部、永樂町觀路と五つの營業所があるが、それが上水栓を締めて廻つたらだ

問　京城の水はそんなに

不足　してゐるか

答　いまの配水量は一日五萬二千立方米だが昨年のごとき最高使用量は一日に六萬五千立方米で三千噸の荷車につむとして二千二百輌、京城驛から實に梧柳洞驛までつゞく多量の水を一日に使ふことになる、今の數字で見ても一萬三千立方米の不足が判るだらう、ポンプの力は一定してゐるし使用量は朝と晩とでは大きな開きがあるので、本來か ら云へば時間給水すべきだがそれでは府民が

不便　だから減水した

問　水道側の對策はないか

答　使用量は新設栓と自然增加で毎年平均一割以上の增加を見せてゐるから府としてもこれによつて計畫を樹てゝゐる、來月十日前後には三百五十萬圓を投資した新水源地が出來上り一萬八千立方米を增加配水出來るからさうなれば盛夏が來ても今年は心配はないが、再來年ぐらゐからまた足りなくなるだらう 引きつゞき更に一萬八千立方米の

配水　池を着工する、つまり再來年の間に合せるつもりだ

問　水はどんな方面に多く使はれてゐるか

答　もちろん家庭です、殊に夏は雜用水が目立ち夏の風呂なんかを止めろといふわけには行かないから結局雜用水を節水してもらふんだ、流し放しで水道を使つたり、使用後の栓の締め方が足りなかつたり、撒水とか畑へ の灑減水は廢水を再用してほしい、洗濯、菜ッ葉洗ひなどに使はれる水がもつと節約されねばならない

問　家庭防火、つまり消防ポンプが來るまでの早期消火には支障ないか

答　あるね、困つたね、そいつは……どうもそいつは……ふふふ、だからだよ、だから皆んな水を節約してもらはねばならんのだ

北支から教育視察團
目下詮衡中

【北京特電】河北蒙疆からはじめて送る朝鮮國民學校教育狀況視察團は五月下旬發二週間の豫定で朝鮮に向ふ豫定で、目下大使館期課で各地日本人學校教員十五名を詮衡中である

揮へ誠の聖鍬
けふから扶餘に擧る愛國班へ
川岸總長から飛檄

扶餘神宮御創建の御造營工事に國民總力朝鮮聯盟では全鮮愛國班員を動員して風かをる扶餘山の神域に勤勞奉仕の聖鍬を揮ふことになりその第一日に當つて川岸聯盟總長は十二日次のやうな談話を發表した

上古我が國と三韓諸國との關係は極めて深く、就中百濟とは相互の往來特に頻繁にして政治に經濟に乃至は文化に、双方の交涉は眞に骨肉も啻ならざるものがあつたのでありまして、この間實に前後二百年の王都たりし扶餘の地こそは、洵に美はしくも咲き匂へる內鮮一體の具現結實を見たる一大由緣の地なのであります、今回扶餘神宮御造營に 本聯盟が勤勞奉仕を申上ぐることとなりました處、奉仕希望者は期せずして三萬餘の多きに達し、愈よ本日から十月まで毎日約二百人づつ交替で、主として神域內參道の工事に奉仕致すことになりましたが、曠古の事變下にこの意義ある奉仕作業に從事致しますことは特に深い感激を覺えざるを得ません

"定期"を改竄
惡辣極まる延專生擧る

鮮鐵では去る四月廿八日から五月廿一日まで全鮮一齊に無札乘車防止週間を實施して濫乘する乘客のサービスに乘り出してゐるが、端なくも京城驛改札口で、京城府外新村延禧專門學校二年生、李三奎(假名)が定期乘車券改竄により不正乘車をしてゐるのを發見したこの不正乘車券は新村、京城驛間昭和十五年五月卅日迄の有效期限のものを昭和十五年の五の數字を寸分違はぬ他の印刷により數字を切り拔き巧みに貼り替への出來るやうにした最も惡質なものであり京城驛ではこの種改竄乘車券の發見は十數年來初めてのもので、問題は直ちに鐵道事務課に移され朝鮮國有鐵道運送規則第卅五條第二項の『券面記載事項を塗抹改竄したるとき』の條項及び一日一回往復の普通運賃及び割增金徵收の一項を適用し百十六圓の追徵金をとつたが 從來とかく延禧專門學校學生の乘車態度の横暴振り及び乘降規則を無視した事例が相當數に上つてゐるので、鮮鐵では同校定期乘車券による九割餘の割引優遇の停止をなすべしであるとの强硬意見なども出て對策を考究してゐる

"城東のカポネ"ら
街のダニ四十餘名御用

城東方面に巢喰ふ無職者、與太者の一派の亂暴がはげしくなり、附近住民を困らしてゐるので、京城東大門署ではこれら汚れた顏役を一掃するため十日午後八時から十一日午前二時まで松尾司法主任の指揮下に司法刑事、署內各係員それに腕ッ節の強い吉田教師以下の柔道部員百餘名を總動員して新設町、競馬場附近、安岩町、城東驛附近、新堂町一帶に亘つて大規模なギャング狩を敢行、四十餘名の無職漢を檢擧した、このうち廿名は說諭だけで釋放されたが婦女子を襲つた軟派の不良は八名にのぼり、賭博常習は十二名、この中には新堂町三三三河泰俊(二二)同石鎭明(二〇)など不良仲間の親分格で『城東のカポネ』といはれた暗黑街の顏役も御用の風を喰つて仲よく留置場に納まつた東大門署ではまだ陰に潜んだ惡玉を今後引續いて探索、追求の手を緩めない方針である

吾が身を賣つて苦界の姉を救ふ
淚の肉身愛に係官も感激

京城新町三一貸座敷業『美人樓』抱娼妓小萬こと山崎辰江さん(二二)と同じ家で働いてゐる實姉『ほまれ』こと辰江さん(二四)は姉を思ふ辰江さんの燃える肉身愛と義俠で、さつぱりと姉に泥水稼業の足を洗はせ酷の息苦から飛立たせ郷里熊本市の實家の温い兩親の懷へ歸ることになつた しかも妹の辰江さんは姉靜江さんの前借金二千百圓をそつくり背負ひ、更に多難な前途を控えた藝妓稼業に飛込み佐賀縣小城野町券番へ身賣りをして十二日

ぐる"の山崎姉妹の聞くもの淚をそゝる運命の蔭には、次のやうな血で綴られた過去がある 今から五年前郷里熊本で老い乙食苦にあえぐ兩親を助けるため その姉妹は 夢の多い 心を、ひたすらな 孝行の一圖の 心で押へ揃つて唐津の藝妓として賣られて行つた、しかし妹の借金は一向減らず重なる費用で增えてゆくばかりだつた、そこで姉靜江さんは"よし、あたしが今一度身を沈めて金を作り妹を救つてやらう"と前記『美人樓』へ去る廿日身賣りをして妹辰江さんを郷里へ自由にして歸へした しかし姉思ひの辰江さんは姉の居所を知ると矢も楯もたまらず後を追つて來城、姉を化術から取り返さうと自分も前記美人樓に娼妓となつた これを知つた松山保安主任が感激 今時奇特な姉妹だと一肌ぬぎ樓主とも話をつけ違約金も拂ふことなく『藝妓で借金を返し一時も早く自由な身となりお國のため御奉公を盡すやうに』とこんぐと慰めてやつた

【寫眞＝感心なほまれさん】

不埒！病人をすつぽかす
横着な運轉手

十一日朝九時ごろ京城大峴町三三一白川清三郎氏の長男一雄ちやん(三)が急に發熱危篤に陷つた、これを知つた友人が早速京城交通會社西大門營業所へタクシーを賴み＝運轉手山本顯謨(三〇)＝に事情を話して醫師を迎へ大峴町まで行くことを約束した、その足で友人の尹さんは醫師の方へ電話連絡に出かけた間に不都合にも車は姿を消してしまつた、困り果てた尹さんが同所事務員に車は何處へ行つたかと聞いても"わしは知りませんよ"の不誠意の返事だ、その中病人は段々弱くなるとの電話が頻りにかゝる、やつと 通りかゝつたタクシーを拾つて二時間遅れた正午ごろ醫師を患者宅へ届けた、西大門署ではこの横着な運轉手を早速呼出し嚴重取調べてゐるが"距離が遠いから"と運轉手は苦しまぎれの逍辭を弄してゐる

隔習"稧"へ斷
富籤罪で廿餘名送局

新體制下では富籤罪を成立、一味廿餘名が京城鍾路署から近く送局される 京城淸進町一七五鄭萬圭(ぺ)が稧長となつて昨年九月頃鍾路町一ノ二に彰信社といふ"稧"を組織、新設町一三三ノ六七李富鐵(ぺ)が會計役、鍾洞町三ノ一金昌鉉(ぺ)が財務、その外に事務員五名、注文係十四名、都合廿二名が一團となつて賭事好きな民衆に一口一圓、一圓五十錢の富籤を賣り一ケ月にそれぞれ三回宛、ラムネ玉のやうな木造玉を丸い桶に入れてこれを振り出し 玉の出た順によつて一等は一圓五十錢口が一千圓、一圓口が五百圓と富籤式に射倖心をあふつてゐたしかし世間の目を胡魔化すため表面は無產階級を相手とする福祉金融機關の看板を掲げてゐたもので、鍾路署ではその惡質行爲を探知、去る四日一味を一網打盡に檢擧した 半島特有の弊害として公然と認められてゐた"稧"が總力あげての

給量を確保
本年度の原料葉煙草收納高

昭和十六年度の製造煙草に振り向けられるべき原料葉煙草の收納が去る三月十一日で完了、收納高合計二千七百八萬六千瓩に達した 原料葉煙草の種類は朝鮮種、內地種、米國種、土耳古種、扶甲種などで總收納高は目標高に比べると昨年の天候不順の結果多少の減收をみせてゐるが前年度持越數量を加へれば先づ十六年度の煙草增產數量に對しても自給量を確保したことになる なほ今回の收納高に對する賠償金は一千六百四十九萬七千餘圓で耕作者一人當りの平均收量は二百四纏、賠償金百廿四圓となつてゐる

青葉山、男女を屠る＝三日目電送

一人々々が防諜戰士
鍾路署で防諜懇談會

防諜體制の整備徹底を期して防諜週間が實施された初日の十二日午後一時から京城鍾路署では管內の書籍商、接客業者、工場主の代表廿五名を同署訓授室に招き、『防諜懇談會』を開催、國民一人殘らず防諜戰士たる責務昂揚を誓つた 石川署長、岡村高等主任、吉田同省察主任が

一、日本精神を堅持し祖國を護れ
一、國家の機密を知れ
一、國家の祕密を漏すな
一、寫眞を撮す場合に注意せよ
一、職場、持場を護れ
一、相手を輕信するな
一、官廳と連絡をよくせよ

等、國民防諜の心得を交々說明して防諜協力を要望すれば、出席者はめいぐに忌憚のない質疑を開陳して眞面目な防諜の眞義知識を探求した

防諜映畵演劇會

京城本町警察署では十二日からの防諜週間に呼應して十三日午前十時から本町一の喜樂館で"防諜映畵演劇會"を開催するが、當日は午前十時から約十五分間河野本町署長の防諜講演があつてのちニュース映畵及び"スパイ"＝三卷の防諜映畵を上映するほか目下滯城中の杉狂兒一黨の防諜にちなんだ演劇を行ひ同署管內防諜團員に對し入場無料で公開することになつた

入場料を獻金
本社から海軍武官府へ

太平洋問題が複雜な暗雲を孕むとき、これに對する國民の正しい認識を深めるため本社ではさきに軍事批評の權威者伊藤正德氏を招いて釜山、大邱、京城、平壤、元山、咸興、淸津にて太平洋問題を語る講演會を開催したが、その際場內整理料として得た六百五十五圓七十六錢を國防獻金とすることとし十二日午後一時半本社原田營業局長は京城海軍武官府を訪ね獻金の手續きをとつた【寫眞＝海軍武官府で獻金】

河豚で悶死

【釜山】府內寶水町一ノ一二李福實(ぺ)は十日午後六時頃河豚の白子を料理して食べたところ間もなく猛烈な腹痛と吐瀉に惱んだ結果同日午後十時死亡した

五日目取組

【東京電話】

中入後

四海波 — 瀧美川	勝ノ里 — 鶴ケ嶺	松ノ里 — 醍醐川
陸奥ノ里 — 佐渡島	大邱山 — 大潮	八方山 — 備州山
小戶 — 岩國	五ツ嶋 — 川島	若瀬 — 潮若
櫻岩 — 双見山	相模川 — 鯱ノ里	龍王山 — 小島川
大和錦 — 青葉山	神東山 — 富士ケ根	九州山 — 磐石
二瀬川 — 旭昇	鹿嶋洋 — 玉ノ海	笠置山 — 九ケ錦
肥州山 — 旭川	櫻錦 — 名寄岩	增位山 — 照國
五ツ島 — 小松山	出羽凑 — 佐賀ノ花	十三錦 — 羽黒山
安藝ノ海 — 松浦潟	出羽湊 — 双葉山	男女川 — 前田山

十二日朝の氣象概況

高氣壓は蒙古から北支及朝鮮に擴がり小笠原島附近の海上も氣壓が高い、低氣壓は東支那海と本邦中部の南海上にあるが其勢は弱い、滿洲半島は曇つて處により少雨、滿洲は晴勝、北支那は曇、內地は瀬戶內の處が多い、鮮內の氣温は南岸十二度內外、國境は二度內外で例年と大差ないが北鮮は五六度低い

京城地方【今晩は曇】【明日は晴たり曇つたり】今朝最低氣温一〇度三、昨日最高氣温二三度一、最低氣温一〇度九

仁川地方【今晩】晴勝【明日】北の風晴後曇時々雲

"憧れ"につけ込む親切が曲者
『外人と洋妾』の場合

僕の私の「防諜訓」（一）

戰爭はスパイによつて支配されるといつていい、オランダ、ベルギー、ノールウエー、デンマーク……とドイツが矢繼早に打つた電擊攻略の裡に、敵國深く潜入して本軍に諜報を與へた第五列部隊の活躍はわれぐの記憶に新しい事實である、一國にして次々と地圖の上から姿を消した歐洲諸國のその樣相を觀よ！近代戰の實相を想へ！思想戰、經濟戰、文化戰、謀略戰……スパイ戰は地球をめぐつて目に見えない火花を散らしてゐるのだ、國家は防諜週間を設けて國民にその用意と覺悟を愈へんとしてゐるが、われぐは女性の虛榮や金權主義に誘はれ幾多國を賣つた憎むべき鮮內の事實をひろつてみる

どういふものか、外人だといふと日本婦人はすぐ崇拜し憧憬する傾向が多い、英語が話せたり、佛蘭西語を喋つたりすることに一種の優越感を抱へてゐる、不可思議なのは、さうした日本女性の心理である、その心理を巧にスパイは利用することを忘れない、似合ひもしないのにパーマネントをかけて見たり、西洋の舞踏を習て、ハイヒールでも頴いて得々として歩いてゐるが、殊に有閑マダムや良家の淑女連に限つて外人に興味を持ちたがるものである、彼女達は外人の紳士を知つてゐることを光榮とし、誇りとして得意になつて友人に吹聽する、そして、夢中になつてゐるうちに、彼らの

目的　が何であるかゞ判つても、もう取返しのつかない破目に陷つてしまふのだ

◇

某國が日本內地、朝鮮、滿洲方面に放つてゐるスパイの數は相當多數に上つてゐる、勿論これは一國だけの話で、その他の國をあはせると、どの位のスパイが各地に巢喰つてゐるか判らない、昭和十年から十四年まで僅か五ケ年の間に、朝鮮において憲兵、警察の手で檢擧された外國スパイは百名を數へてゐる、この大部分は北鮮地方のものであるが、それだけでも列國が如何に朝鮮の兵站基地たる實情の調査に手を換へ、品を換へて苦心してゐるかゞ窺はれる、或は公然と鮮內各地を旅行したり、或は軍隊、軍需工場等の視察に名を藉りて、スパイの行動そのものは目に見えなくとも、正確な印字機のやうな彼らの頭腦は聞くもの、見るもの、すべてを記憶して歸るのだ、"その口に鍵を せよ"と口癖を 戒める前に"スパイはそこにゐる！"と周圍を見直さなければならない

◇

これは、最も新しい戰法のニユースである、今度の

歐洲　大戰が始まつてから の出來事である——その一つは天氣スパイだ

一月卅日ロンドン發の報道によると、今年の冬は全歐洲に數十年ぶりの寒波が襲來して各國ともに天候異變が訪れた、あらゆるものが戰爭の要素となり、殊に空襲の戰術が含まれてゐる近代戰では、日々天候もまた重要な作戰的條件である、敵國を空襲する場合、その日の天候は重要な影響をもつことは云ふまでもない、ドイツの空軍がロンドンを空襲するためには、ロンドンの天候が最も軍事的な價値を生じるとは無論である、だから、英國の天候や氣温その他一切の氣象通報は軍事上の機密として新聞通信の發表は禁止されてゐるが、それでも、英國新聞の手拔かりながら全國的列車の延着とか、交通事故等が大々的に報道されてゐた

獨逸　スパイの巧みな嗅覺はここに注がれたわけである、例へば、某驛着の列車が二時間も遲着したとすれば、その原因を『霧のため』と解釋していゝ、濃霧か暴風のためだつたと解釋していゝ、幾何學的な組織をもつ獨スパイはここから割り出した方程式を逆に探索して、その日の天候、翌日の天候を本國へ通牒するのである、しかし、イギリスにしても、ベルリンの天候に無關心であるわけではない、ベルリンの場合には獨逸の新聞統制が如何に嚴重に行はれてゐても、地理的な不利がイギリス唯一つの狙ひとなつてゐるのである、と云ふのは西歐洲の氣象通報が、大體北海の沿中を南北に貫く線から西方ヨーロッパに亘る地域の氣壓に支配されてゐる關係で、しかもそれが多くの場合西から東に向つて

移動　する傾向があり、イギリス側では大體自國の氣象地圖を基準にしてドイツの天候を想像出來るが、ドイツ側では如何に科學的な方を揮つてもこの判斷は不可能に近い、獨逸の海空軍力によつて海上を封鎖されてゐる英國はお天氣の上では逆に獨逸の締出しをしてゐる——といふ有樣である、それだけに、獨側諜報網の活躍は微に入り細にわたつて物凄く、中立國向け民間飛行士から情報を取つたり、或は祕密無電で諜報を送つたり、ロンドン空襲の蔭には、かうした眼に見ぬ第五列の働きが秘められてゐるのである（つゞく）

學藝

扶餘回想曲 全場面の內容
內鮮一體の舞踊詩 全十三曲の絢爛繪卷

構成……牧山瑞求
按舞・演出……趙澤元
作曲・指揮……石井五郎
意匠……裵雲成
衣裳・舞臺……金貞桓
照明……天野道
史實考證……高畠卯一
合唱指揮……平間文壽
演奏……中央交響樂團

序曲

序曲は、管絃樂のみ。天地の開闢を意味する森嚴、典雅なる古典曲から始まる。に純日本風なメロデーにうつり何時の間にか純半島的なメロデーへと進展し、終りに臨んで曲は內鮮の音樂を巧に和合させ、大合唱も加はる。合唱團の助演を加へて音樂が持つ表現形式に依り、內鮮の精神的一體を高調することにする。

第二曲（聖明王の宮殿）

今日は日本の勅使的堤使將軍を宮廷に迎へる日である。緊した扶蘇山麓に鎮えてゐる赤い柱の大宮殿には、今聖明王が將軍の謁見を樂しみにして待つて居る。百濟の中興禦進の爲め、大なる援助を惜まない欽明天皇の勅命を受けて來た將軍なれば、王の感激も大したもの、侍臣、侍女達は明快な音樂につれて大歡舞。殊に王の笑ひを得てゐるユウモラスな坊主は愛嬌の溢れる踊りを以て今日の悦びを高めてゐる。

やがて巴提使將軍入來。王は國賓に對する禮を以て迎へる。將軍の獨舞、王臣との合舞、最後は將軍と王樣とを中心に大群舞となつて將軍歡迎の意を現す。

第三曲（魂の合流）

日本と百濟とは文物の交換しげく、皇室との親和も濃かに、全く一家一族の如き國交が續いた。

この爲め、日本の勇將で扶餘に永住するものもあれば、百濟の技工にして日本に永住するもの續出し、兩民族の血の契りは今を去る一千三百年前、旣に堅く結ばれてゐたのである。

魂の合流—これはこの尊い史實を踊りに依つて表現せんとするものである。

扶餘の乙女と日本の若者との春の如き樂しい交はりを、甘く湧く踊り出すものである。

第四曲（聖壽祈願）

大佛閣の中、中央に丈六の大佛像が安置されてゐる。これこそ百濟中興の大恩人として、太陽の如く仰ぎ奉る欽明天皇の聖壽を祈る爲め、百濟の聖明王が造り上げた感激の結晶である。

今日は國都を擧げての大法會を執り行ふ日だ。香煙たちのぼる大佛像の前には高僧の手に鳴る木魚の音につれて、音樂が佐行、ハーモニー宜ろしきを得て侍女達の合唱となり、僧侶一同の群舞、高僧の獨舞等によつて、欽明天皇の聖壽を祈る赤誠燃える場面となす。

第五曲（大和乙女）

日本の絶大なる援助により〃國泰平、民安樂〃の夢を結び得た百濟の國內には、愈よ佛教が盛んになつて來た。

この時、大和、飛鳥の京より勅許を得て、はるぐと、扶餘に渡つて來た三人の大和乙女が居た。百濟に留學、佛の道を修める爲であつた。

是こそ、日本最初の外國留學生であり、如何に百濟の文化を愛して居たかを物語るものである。登場人物は鳴女、豐女、右女の三人の乙女と、三人を案內して來た百濟の使臣三人。踊りは憧れと平和と歡喜とによつて美しく力強く

第六曲（皐蘭の香り）

扶蘇山の西の麓、白馬江に臨んだ處に古い尼寺がある。寺の背後の巖に、皐蘭の花が咲き、藥水が湧き出るので、皐蘭寺と名を付けた。

こゝに三人の大和乙女が修業をしてゐた。

この藥水は歷代の百濟の王樣が飲料水として愛用して居たので、月の明るい夜には、若く美しき宮女達が水を汲みに來る。三人の大和乙女は、香り高き皐蘭の花を取つては甕に浮かして、水汲の手傳ひをする。實に麗しい場面である。

三人の大和乙女の月下の踊り。宮女達の水汲の踊り、三人の乙女を中心に、尼僧達の群舞等によつて和やかな夜の扶餘を夢見ることにする。

第七曲（天下太平舞）

今は百濟卅一代義慈王の治世。

長い間安逸な日は續いた。平和の夢に明け暮れる扶餘の市民達は今日も泰平聖代を謳ぐが如く、街を踊り歩くのである。民俗的な素朴な踊りの中には、頽廢的氣運が漲つてゐる。

女のグループの踊りと、男のグループの踊りとがある。如何に時の政治が亂れてゐるかを踊りに依つて表現するものである。

第八曲（迎月の宴）

今宵は滿月だ！義慈王は例によつて多くの重臣と侍女を率ゐて、迎月台に月見の宴を張つてゐる。盃に散る紅い花にも、酒をつぐ美女の顏にも、今宵は何故か淋しさがたゞよつてゐる。

一人ユーモリストの坊主のみが陽氣な音樂につれて踊つてゐる。王は盃を投げて坊主の踊りを止めさせる。靜な曲につれて、王と王妃との踊りになり、中間で登場……

第九曲（烽火の舞）

[illegible]

第十曲（落花三千）

[illegible]

第十一曲（東へ渡る）

[illegible]

第十二曲（聖地の合唱）

[illegible]

第十三曲

[illegible]

『扶餘回想曲』第八曲『迎月の宴』（趙澤元の王と趙美良の王女）

時の不連續線
京城日報學藝部長 寺田瑛 著

靴直し

……打つてお置きなさい。こんなはないですから」

と、同じことをいひながら褒めるのである。褒められて惡い氣持はしない。

「おや、觸まう」

靴直しは、五つ、七つ、十……

「そんなに打たなくてもいゝぜ」

「いゝえ。革がないですから」

つひに、一方の靴に十七づつも打つてしまつた。

「一圓四十二錢です」

おだてられるまゝに、つひ、うかうかと打つてしまつた金具に、私は自分ながら呆れてしまつた。靴直しにおだてられない人があれば、その人は幸福である。

（內鮮一體の聖域）

新映畫評
東京から來た武士 時代物に新機軸
松竹作品

松竹京都作品『東京から來た武士』——時代劇映畫の題材といへば通り相場が稗史、講談、舞台で、そこには何等の反省もなければ創意もなく、傳承し踏襲しそして複製してゐるにすぎなかつたといふ極論さへされてゐる、そのやうな時代劇映畫のなかでこの作品は內容の古風さ單純さを語らなければ先づ順當に近いものであらう

生き殘つた新撰組の隊士が池田屋騷動の折に斬つた男の遺族を訪ね陳謝の方法を案ずるうちに遺族達の美しい人情に縛られてその家の聟子になる

このやうな筋で隊士の心理と遺族達の好人物が描寫され、點景として京都市井の宿屋、關氣の力士、へぼ芝居の三文役者、謎本賣れ師が止宿し、そとから出入りする人物では和尚、京の雛妓藝奴、色物藝人等種々雜多を扱つてその情緒は一口に捨て去り難きものである

監督井上金太郎の趣味がよく出てゐるところでは隊士と宿屋の娘が縁に結ばれる過程で、高田浩吉と北見禮子を適確に動かして極めて淡彩にまとめあげ嫌味がない、坂本武と西村文子の宿屋夫婦はなにをやらしてもなんとかこなす達者な二人だが井上監督の狙ひとは一寸喰ひ違つてゐる、セット撮影は共に效果

猛獸使ひの姉妹
新興東京作品

新興東京作品『猛獸使ひの姉妹』——深田修造、脚色新藤兼人——サーカスの一團が信州のある小さな温泉町へと旅をしてゐた、恰度このサーカス一行と一緒になつた安田（宇佐美）は上田で旅館をしてゐる養母の家から實母を訪れるため同じ町へ行くところだつた、安田は旅の道づれとしてサーカスの花形姉妹であるクミ（眞山くみ子）とユミ（淡島みどり）達と親しくなる、姉妹は團長（加藤精一）の愛娘で幼少から母親を知らないで父親に育てられてきた

といふのが物語りの前半であり映畫の中途であるが、この邊までで止めて置き度い、見えすいてゐてつまらないからである、脚本は筋をさばきされてゐないし、演出はおそろしく間のびがしてゐてどうにも頂けないと片づけてしまへばそれまでだが、サーカスといふロ

的『東京から來た武士』は井上監督近來の力作であるは勿論從來の時代物に一歩を前する野心作である（約一時間、明治座上演中）

ペタ・サーカス團の協力があってこその一篇ではある（約一時間半京劇上映中）

朝日座の漫才 あすから公演

十三日から朝日座には漫才劇戰等の太陽ショウ一黨が來る、闇の凝らない漫才陣には芳美、光春、政子その他十餘名の顏を揃へ餘興には奇術、コーメイショウを加へた盛り澤山、毎日午後六時開演である【寫眞—漫才の中山芳美】

新映畫紹介

◇阿波の木偶 文樂よりも古い歷史を有つといはれてゐる郷土藝術の阿波の人形淨瑠璃は四國の町や村々で情緒豊かな人形芝居を公開してゐるが大每東日映畫部ではこれを取上げて『阿波の木偶』を製作すべく野口德次、笹原松三郎を德島に特派し國府町で淨瑠璃人形を作り續ける一徹の老藝術家通稱天狗久と吉岡久吉老の仕事振りを撮影中である

◇南北夫妻 松竹京都の井上金太郎監督は里見弴書卸しの『南北夫妻』を映畫化と決り池田忠雄が脚色に着手した

學藝だより

◇防諜展 朝鮮總督府主催で十四日から廿五日まで京城三中井六階ギヤラリーで開催する

◇新美術家協會展 第一回京城展を十四日から十八日まで和信七階ギヤラリーにおいて開催する、同人は金宗燦、金學俊、李仲燮、李快大、文學洙、陳瓛等在德氏等

今晩のラジオ

六時卅分箏曲（城）鈴木民子 ▲七時廿分 政府の時間（東）菅場重藏 ▲七時四十分講演（城）松原純一 ▲八時落語（東）春風亭柳好 ▲八時廿分ラジオドラマ（大）小杉勇、其他 ▲九時 時局講話（東）陳隊長等

京日歌壇 古井勇選
朝鮮風物・生活・事變雜詠

かさかさと節くれだちし指なれど働くわれや恥と思はず　大邱　野口雨月

しみじみと友と歩める夕ぐれの街　京城　中原讓子

何となく安げかりけり　南山　中村河南女

かの姓高村と創氏せりと求めし者に署名したりき　京城　濱田妙子

約束の日を楽しみて明けし今日忘……

れし如き人を悲しむ　京城　武村哉久恵

韓國の昔にふたゝび曾ひにつゝここに死なむと思ひわが居り　京城　瑞城千登世

腹え難き併の病によしといふ藥の名をばしかと覺えむ　京城　中江絹縫

思ひあまりから松の林ゆきゆけば彼方の山は故郷に似る　京城　岩谷比呂子

母上の位牌やうやく色寂びし落着く頃はわれ二十過ぐ　咸南　ひばり

旅立ちし夫を送りし夜の道暗に泣れつつひとり歸り來　興南　草地露子

友ねむる奥山墓地にひとり來ては るかに晴るゝ雪の山見ぬ　京城　和歌子

木の陰に椅子を出させて病める身は一人靜かにものを思ひぬ

朝鮮風物・生活・事變詠（季節自由）毎月廿日締切▲官製ハガキに一人一枚三首限り認め京城日報社學藝部「京日歌壇」宛

世直し公方【188】
小金井蘆洲【演】 香川芳彥【畫】

營業の傳授

親切な武藏屋忠兵衞、殊に親分子分の間柄になつて見れば、一層心配でありますから、夕方になると樣子を見に來て、

「どうしたえ長八、今日はいくら買つたかえ」

「一錢も買ひません」

「ハテナ、そんな事ちやアいけねえな、何といつて歩いたね」

「ハイ、それがその……默つて歩きました」

「そりやアいけないや、もつとも私の教へ方が惡かつた。たとへ十日でも半月でも、町住居をしてゐたから、屑屋さんの樣子も見たらうが、かういふ工合だ。おはなさんや、そこにあるその手拭ひをちよいとお貸し……ようがすかえ、斯う二つに折つて、これを吉原被り、こんな風に被るんだよ、千草の股引をはいてゐるね、裾は七分三分に上げちやアいけない。キビくと端う網からげをして、前掛は斯う折つて、ちよいと三角に前へはさんで、鐵砲笊を右に持つて、左は

突袖をして、いゝかえ、見てゐなさいよ。……エ、屑い。……屑屋でございい。お拂ひはございい……こんな工合だ」

「ハヽ、、悲は怪しからん」

「何怪しからんことがあるものか。やつてごらんなさい」

「なかくむづかしさうで」

敎はつた通り、手拭を被つて端を折り、鐵砲笊を右手に持つて、

「エー何と申しますか」

「屑い、屑い、屑やでござい」

「エヘン……くくくづやッ」

「いけないなア、どうも調子が上づつてゐる。マアくどうせ、初めから巧くは往くまいが、その中には馴れるだらう。それでね、本町だ、石町だといふ大通りはいけませんよ。出入りの屑屋がきまつてゐるからね、さういふ場所をよけるのです。神田の方へ行つたら三河町とか、淺草なら阿部川町とか、さういふ所へ行くんだね」

「成程」

「三日、四日降り續いた後何か何かに路地へ入る近所へ知れないやうに女の聲で、小さく屑屋さんと呼ぶ家でもあつたら、そんなときは返事をしてはいけない。ちよつと合點々々をして見せて、わざと屑いく。大きな聲を出してその家の前を通り過ぎちまふ」

「ヘエ、寄らないのですか」

「さうだよ。寄らずに五六間行きすぎてから今晩は兄貴のしないや

「さうぢやアない、胸暗……つまり腹掛だ。たこといふのは、股引の足は八本ですがなア」

「ヘエ、然し人間の足は二本で蛸だよ。足が入るからな」

「理屈をいはれたつて困る。マアくやつてごらん」

勵まされて文翌日、笊を昇いで出かけました。

うに戻つて來て、何かお拂ひものでございますかと聞くのだ」

「ハア、それはどういふ譯で」

「何しろ二日四日の長シケで、出商賣の亭主が稼げないとなると、米を買ふとか味噌を買ふとかいふんで、仕方がないから何かマア家にある物を賣拂ふんだが、そんな事を近所に知られてはキマリが惡いから、小さい聲で屑屋さんと呼ぶんだよ。それを何かお拂ひ物ですかなどと、大きな聲をすると先方で迷惑をする。それだからわざと合點々々をして、通り過ぎてから小戻りをして聞くんだ。こゝらが先づ商賣のコツだね」

「成程、恐れ入りました。親分も屑屋をした事があると見えます」

「イヤ、私はやりやアしないが、マア儲けのあるのは長物細物、むねとう、たこなどだ」

「ヘエ、長物といふと何です」

「下帶だな」

「むねとうといふと、阿部の貞任の弟ですか」

新刊紹介

▲朝鮮農業の道（興農讀本第一輯）緊迫な內外情勢と比例し、東亞の殺倉たる半島の責務は、特に『農業生産力擴充問題』にかて重且大である、しかるに『農業生産力擴充』の鍵は、一に農村中堅青年の熱意と努力であるに外ならない、斯くの如き意味から半島農村青年を啓かなりとも指導すべく、其良き友として上梓したのが本書である、四篇の文獻からなる內容は食糧增産に一意專心、唯歌々と働く半島農村青年の眞貌が赤裸々と顯れ、且彼等を養成してゐる農民道場長の血みどろな眞體驗が敘述されてゐる、農村青年又は一般向の良書として推薦す（八十錢、京城大平通、京城日報社）